



No. 3  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成30年度第3回

一般国道24号  
やま と ご せ  
大和御所道路

【再評価】

平成30年11月  
近畿地方整備局

# 目次

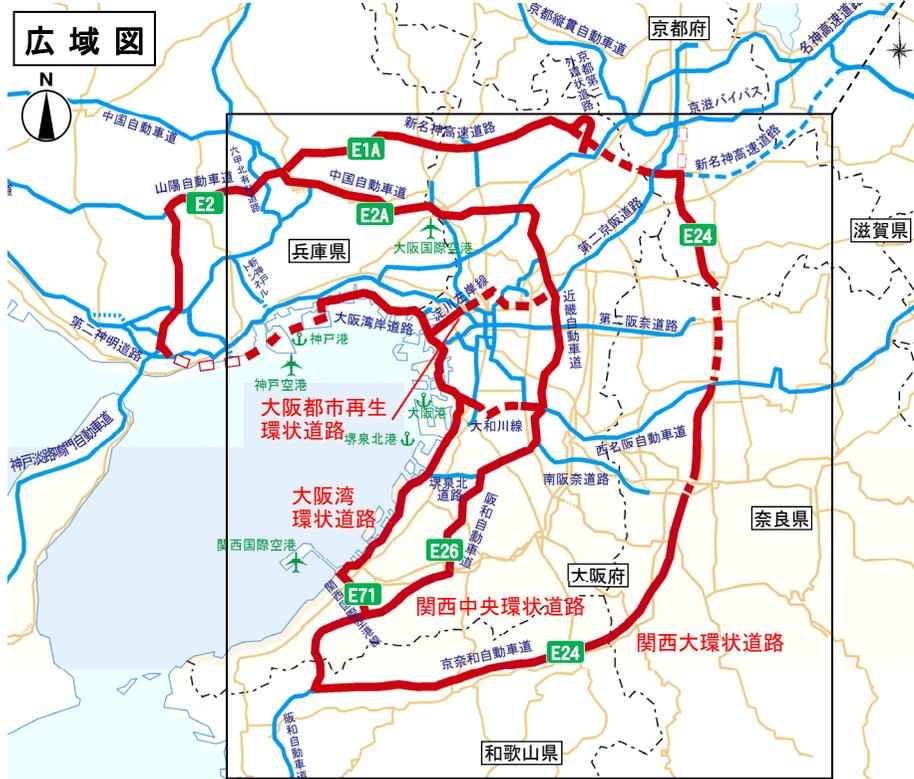
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
4. 事業進捗の見込みの視点
5. 事業費の見直し
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

# 1. 事業全体図

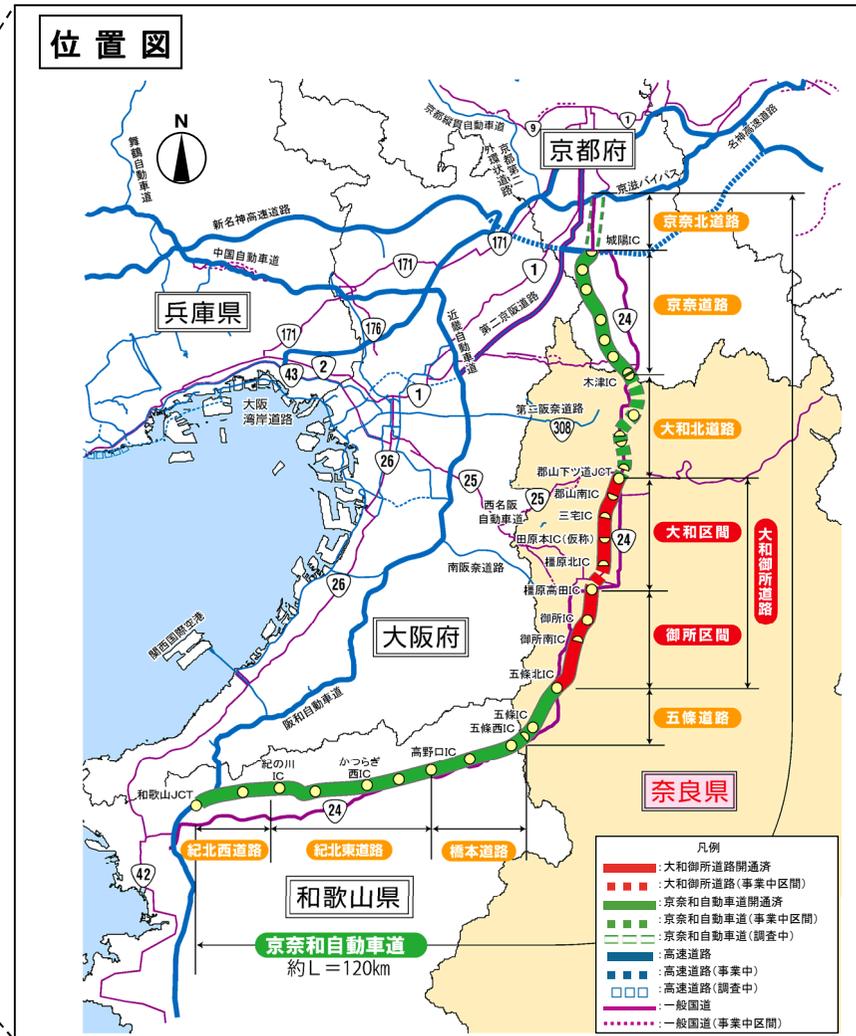
## 一般国道24号 大和御所道路

けいなわ  
京奈和自動車道は、近畿圏外周部の環状道路である関西大環状道路の一部を構成し、京都、奈良、和歌山の都市間を結ぶ延長約120kmの高規格幹線道路です。

やまごせ  
大和御所道路は、京奈和自動車道の一部として高速道路ネットワークを形成し、交通混雑の緩和、交通安全の向上、災害時の救援活動支援、企業立地への支援、救急医療体制への支援を目的とした道路です。



	環状道路	その他の道路
開通済	<span style="color: red;">—</span>	<span style="color: blue;">—</span>
事業中	<span style="color: red;">- - -</span>	<span style="color: blue;">- - -</span>
調査中	<span style="color: red;">□ □ □</span>	<span style="color: blue;">□ □ □</span>



凡例

- 大和御所道路開通済
- - - 大和御所道路(事業中区間)
- 京奈和自動車道開通済
- - - 京奈和自動車道(事業中区間)
- □ □ 京奈和自動車道(調査中)
- 高速道路
- - - 高速道路(事業中)
- □ □ 高速道路(調査中)
- 一般国道
- - - 一般国道(事業中区間)

# 2. 事業の概要

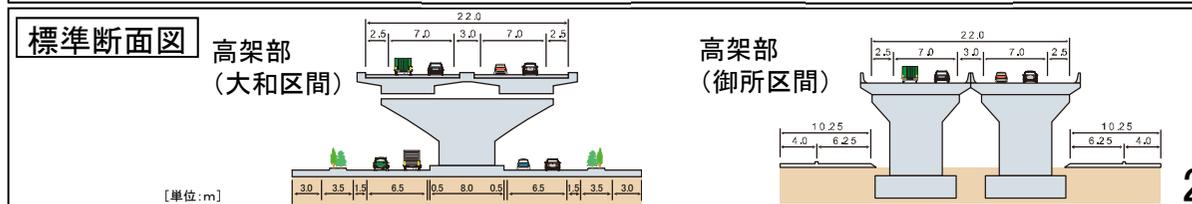
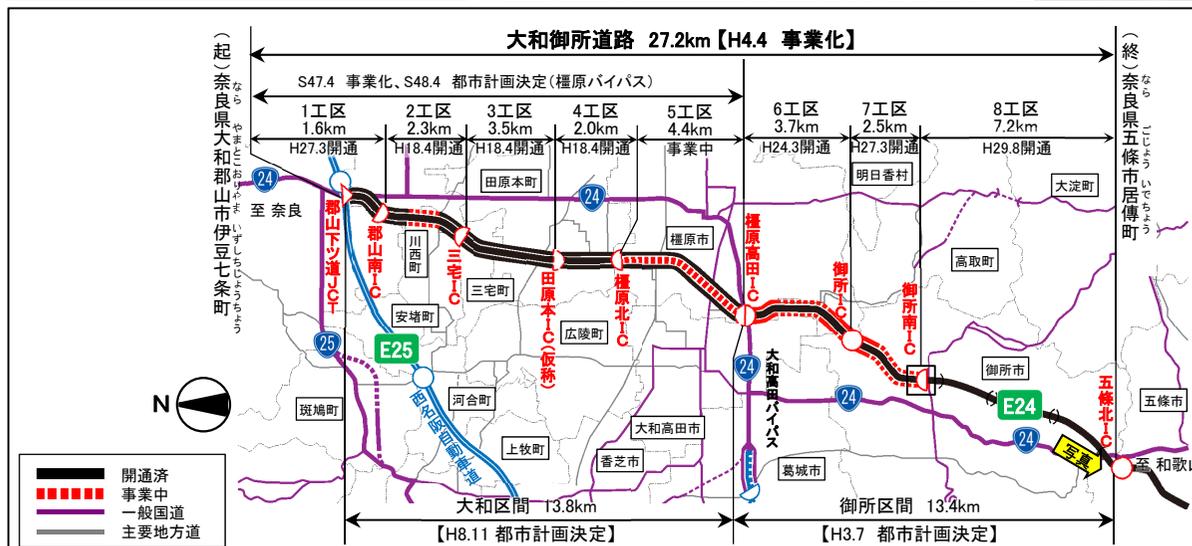
## 一般国道24号 大和御所道路

### 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の向上
- 災害時の救援活動支援
- 企業立地への支援
- 救急医療体制への支援

### 事業の概要・進捗状況

区間	(起) 奈良県大和郡山市伊豆七条町 ごじょう いでちよう (終) 奈良県五條市居傳町
道路延長	専用部: 27.2km 一般部: 20.7km
構造規格	専用部: 第1種第2級 一般部: 第3種第2級
設計速度	専用部: 100km/h 一般部: 60km/h
車線数	専用部: 4車線 一般部: 2、4車線
標準幅員	専用部: 22m~38m (うち専用部22m)
計画交通量	35,800台/日
全体事業費	5,800億円
事業化	昭和47年度(橿原バイパス) 平成4年度(大和御所道路)
都市計画決定	昭和48年4月(橿原バイパス) かしはら 平成3年7月(大和御所道路(御所区間)) ごせ やまとごせ 平成8年11月(大和御所道路(大和区間)) やまと やまとごせ
用地着手	昭和50年度(橿原バイパス) 平成4年度(大和御所道路)
工事着手	昭和53年度(橿原バイパス) 平成6年度(大和御所道路)
開通延長	専用部: 9.4km(大和区間)、13.4km(御所区間) 一般部: 12.7km
事業進捗率	約90% (平成30年3月末現在)
用地進捗率	約99% (面積ベース、同上)



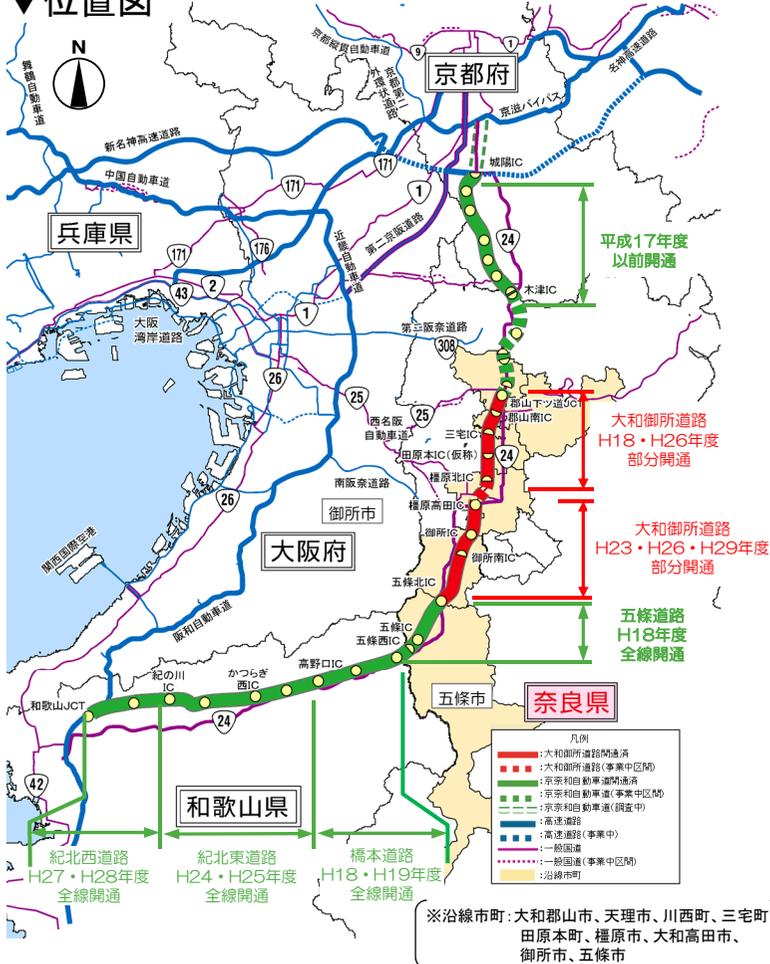
# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

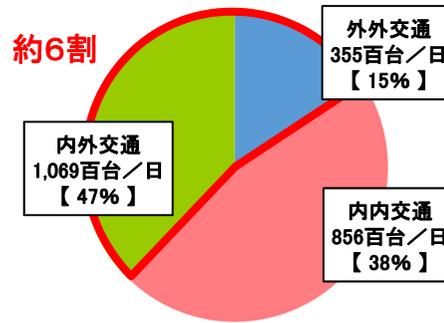
## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 大和御所道路を利用する発着地割合は、隣接都市間を繋ぐ交通が約6割を占める
- 奈良県及び沿線市町の人口は、減少傾向にあるものの、従業員数は増加傾向、自動車保有台数は横ばいを維持しており、事業採択の際の前提となっている需要の見込みや地元情勢の変化等に大きな変化はない。

### ▼位置図

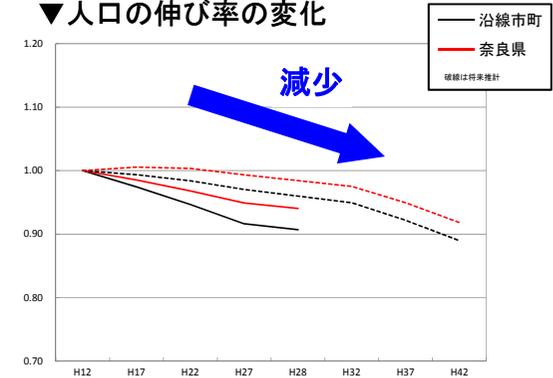


### ▼自動車交通ODの割合



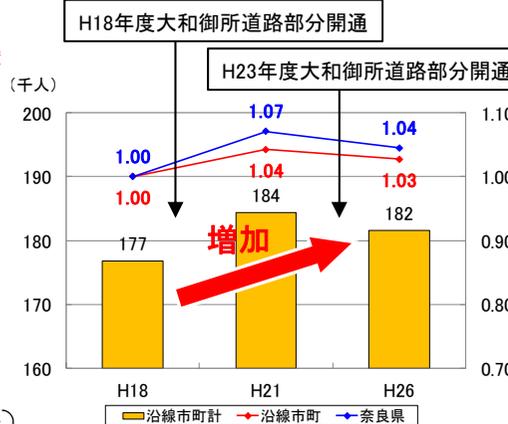
※ 当該事業が通過する大和郡山市、天理市、川西町、三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、御所市、五條市  
 ※ H22全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出  
 ※ 合計値は表示桁数の関係で一致しないことがある

### ▼人口の伸び率の変化



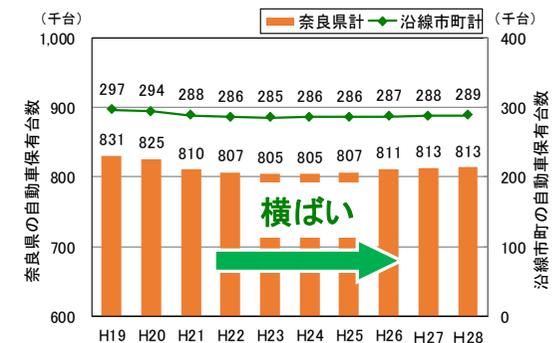
出典：奈良県統計年鑑 H12～H28  
 国立社会保障・人口問題研究所(将来推計人口) H12～H42  
 H15.12推計 (沿線市町：位置図の記載とおり)

### ▼従業員数の変化



出典：奈良県統計年鑑  
 (沿線市町：左図のとおり)

### ▼自動車保有台数の推移



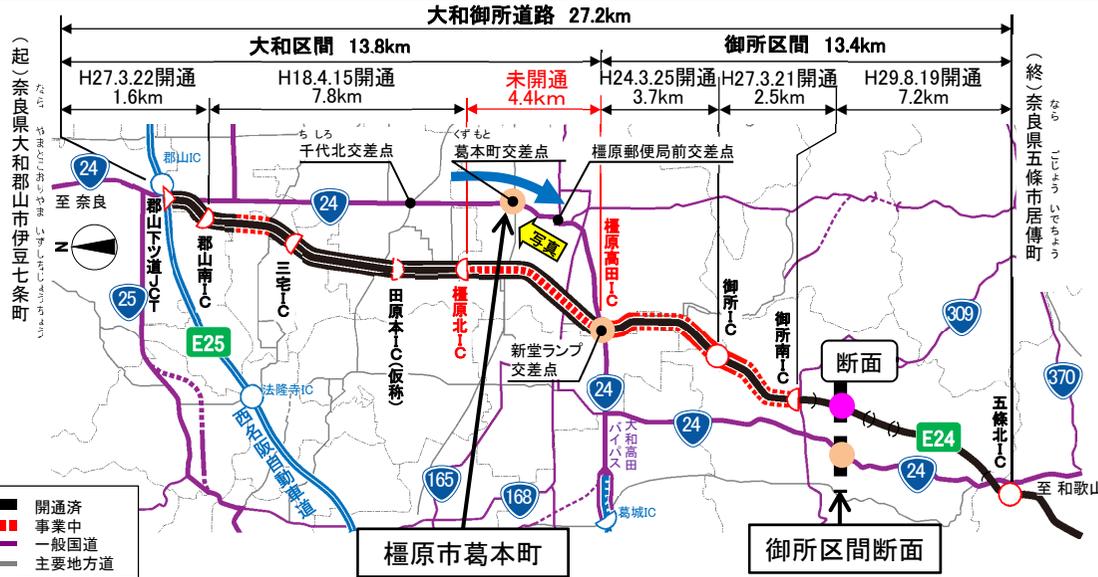
出典：奈良県統計年鑑  
 (沿線市町：左図のとおり)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

## 2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 未開通区間に並行する国道24号及び一般部は、交通容量を超過し、交通混雑が発生。
- 開通済区間では、国道24号の交通量が約4割減少。
- 残存する区間の整備により交通転換が図られ、交通混雑の緩和に期待。



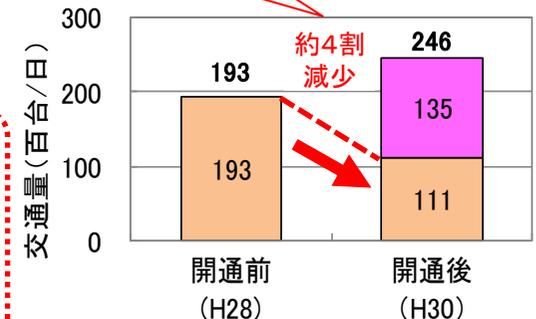
### ▼未開通区間の渋滞状況



### ▼断面: 御所区間の交通量の変化

御所区間の開通により  
大和御所道路に交通が転換

■ 大和御所道路  
■ 国道24号

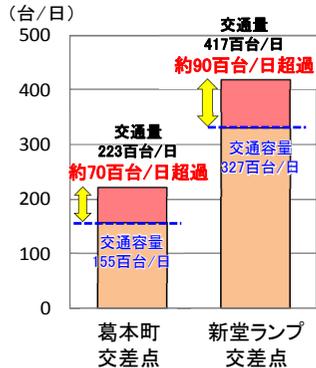


※開通前: H28.10.6(木)、開通後: H30.7.24(火)

※国道24号の交通量は、居傳町交差点の北側断面交通量

※交通量: 12時間交通量にH27全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率を掛けて算出。 出典: 交通量調査結果

### ▼未開通区間(大和区間)の国道24号及び一般部の交通量



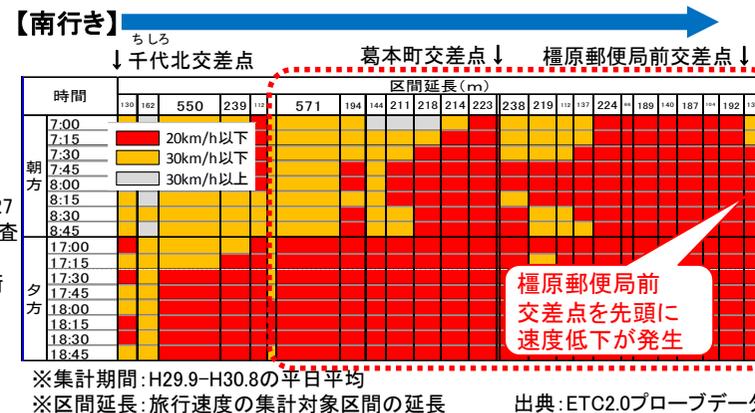
※観測地点及び観測日:  
葛本町交差点 H29.11.16(木)  
新堂ランプ交差点 H30.2.14(水)

※交通量: 12時間交通量にH27全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率を掛けて算出。

※交通容量: H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑度、昼夜率、交通量から算出

出典: 全国道路・街路交通情勢調査(H27)

### ▼未開通区間の国道24号の旅行速度

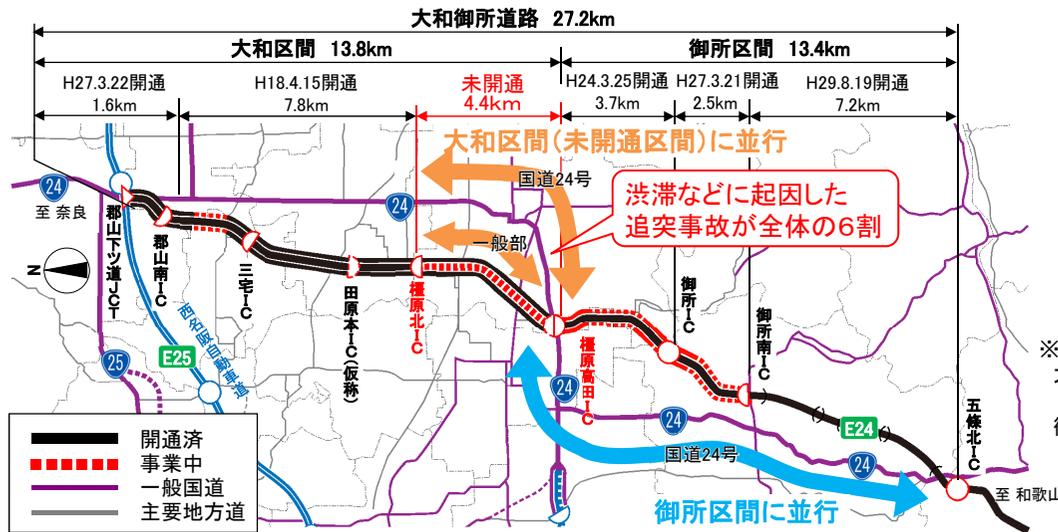


# 3. 事業の必要性等に関する視点

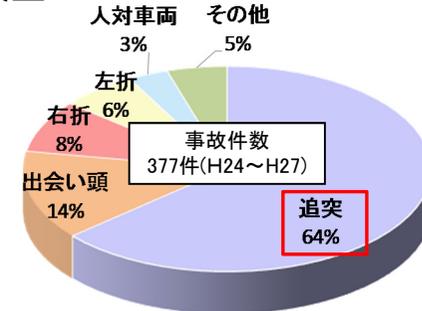
一般国道24号 大和御所道路

## 2) 事業の整備効果(交通安全の向上)

- 大和区間(未開通区間)の並行道路の死傷事故率は、県内国道平均の約2~3倍。
- 御所区間の死傷事故件数は、開通前が9.0件/kmに対して、開通後は4.2件/kmと約5割減少。
- 大和区間(未開通区間)の並行道路は、混雑に起因して発生する追突事故が6割を占めており、残存する区間の整備により交通転換が図られ、国道24号及び一般部の死傷事故の低下が期待される。



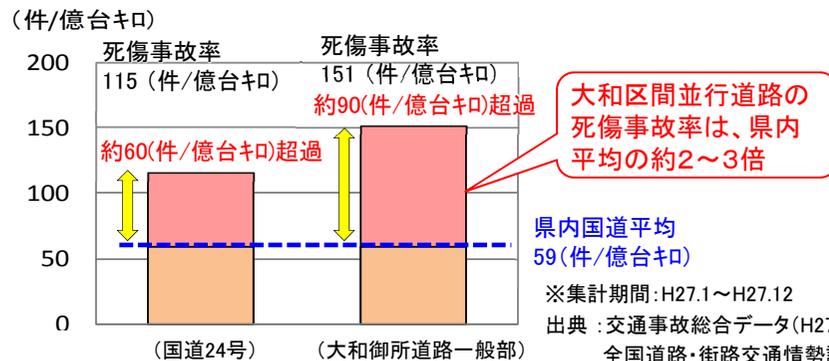
### ▼大和区間(未開通区間)に並行する道路の事故類型



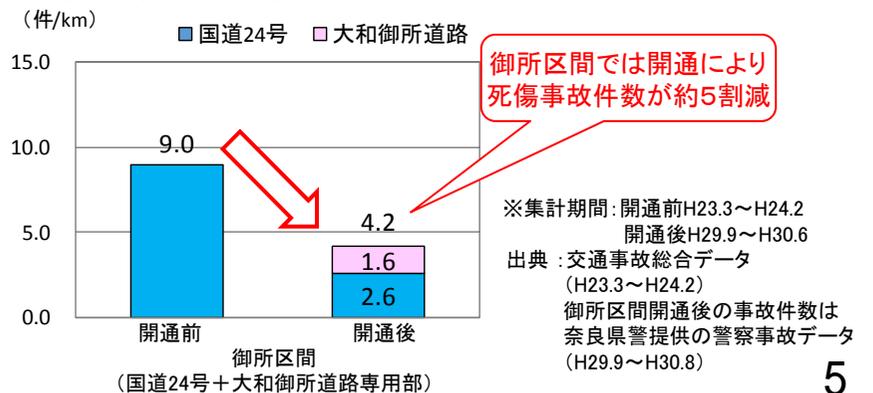
※集計区間: 大和区間(未開通区間)の並行区間(国道24号+大和御所道路一般部)

出典: 交通事故総合データ(H24 - H27)

### ▼大和区間(未開通区間)に並行する道路の死傷事故率



### ▼御所区間の1kmあたり死傷事故件数



# 3. 事業の必要性等に関する視点

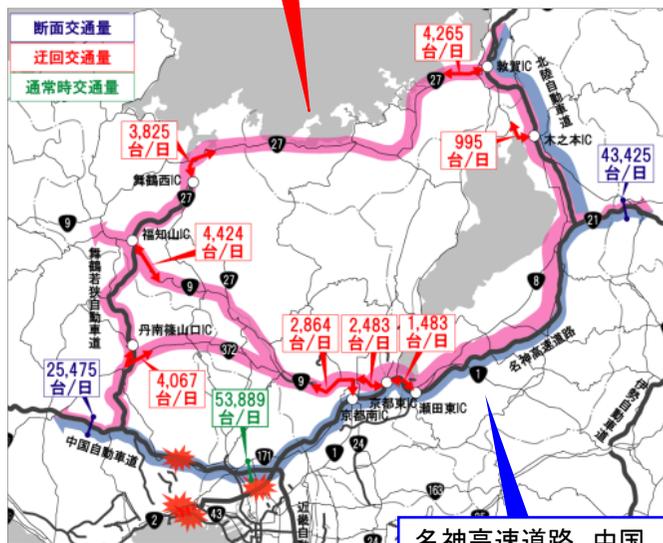
一般国道24号 大和御所道路

## 2) 事業の整備効果(災害時の救援活動支援)

- 平成7年の阪神淡路大震災において、迂回路が経済活動や復旧復興を支援。
- 南海トラフ巨大地震が発生した場合に、被害を受けると想定される和歌山県への奈良県側からの救援ルートは、現在、大阪回りのルートが1本しかないため、京奈和自動車道が新たな救援ルートとして期待される。

### ▼平成7年の阪神淡路大震災時の交通状況

舞鶴若狭自動車道や北陸自動車道、京都縦貫自動車道等が迂回路として機能



**通行止め**  
 名神高速道路(西宮IC~吹田JCT)  
 中国自動車道(宝塚IC~西宮北IC)  
 阪神高速道路3号神戸線  
 阪神高速道路5号線湾岸線

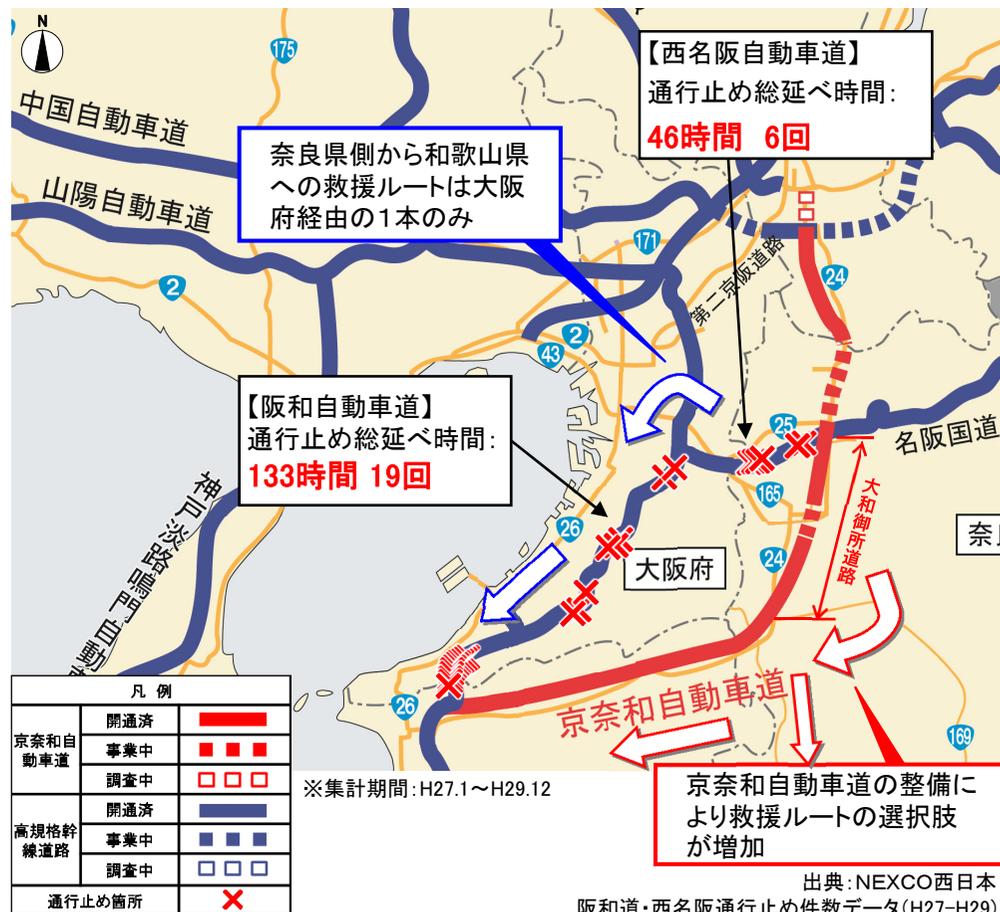
名神高速道路、中国自動車道、阪神高速道路が通行止め

震災の通行止め期間(平成7年1月17日~26日)  
 断面交通量: 通行止め時の交通量  
 迂回交通量: 平常時と通行止め時の差分交通量  
 通常時交通量: H6センサス 中国吹田~豊中IC交通量

通常ルート (Blue arrow)  
 迂回路 (Pink arrow)

出典: 高速道路と自動車(H9年1月号)

### ▼和歌山から奈良への救援ルートの確保



【西名阪自動車道】  
 通行止め総延べ時間:  
**46時間 6回**

奈良県側から和歌山県への救援ルートは大阪府経由の1本のみ

【阪和自動車道】  
 通行止め総延べ時間:  
**133時間 19回**

京奈和自動車道の整備により救援ルートの選択肢が増加

凡例		
京奈和自動車道	開通済	——
	事業中	■■■
高規格幹線道路	調査中	□□□
	開通済	——
	事業中	■■■
	調査中	□□□
通行止め箇所		×

※集計期間: H27.1~H29.12

出典: NEXCO西日本 阪和道・西名阪通行止め件数データ(H27-H29)

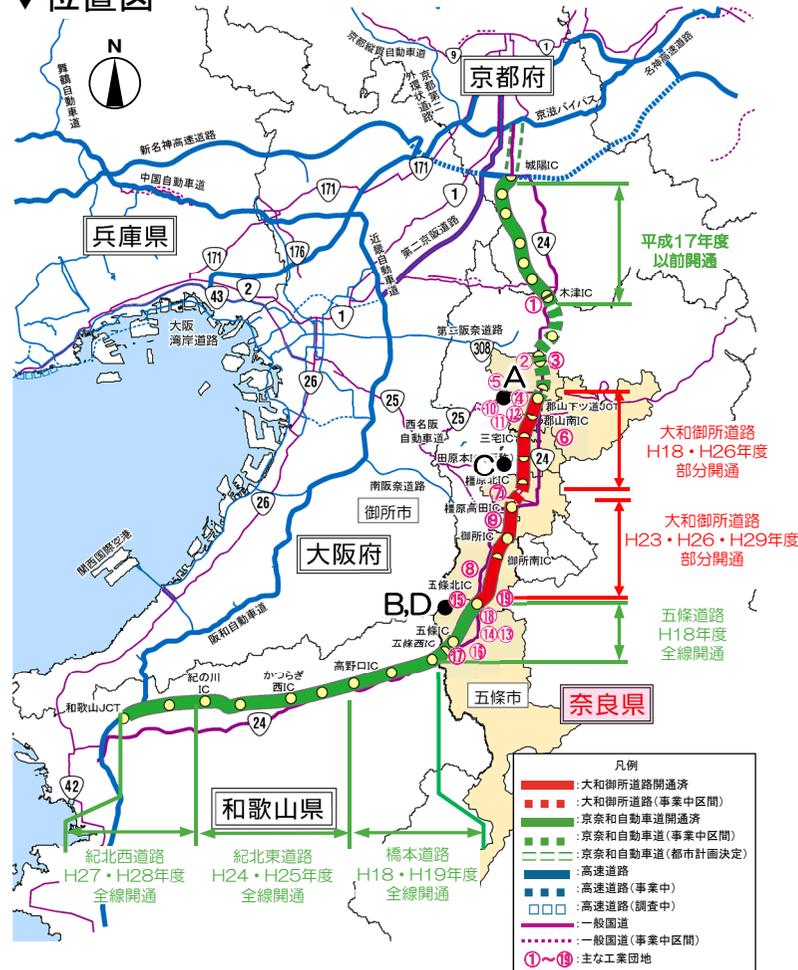
# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

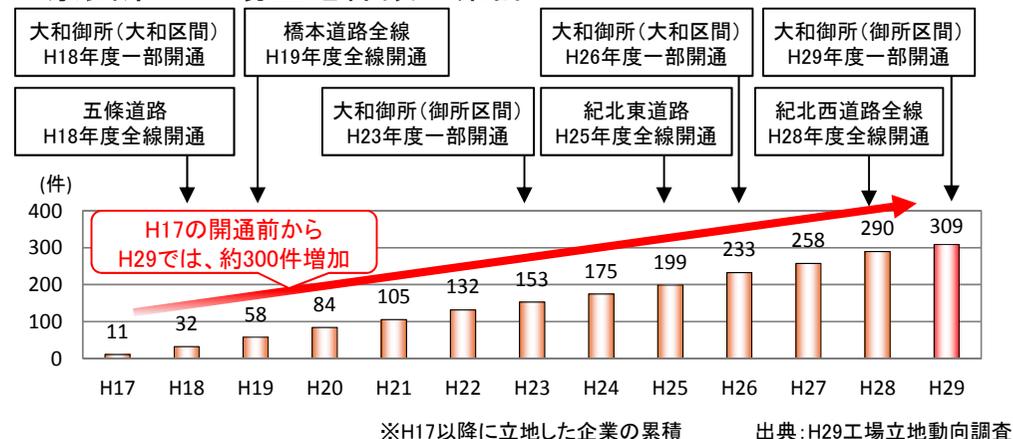
## 2) 事業の整備効果(企業立地への支援)

- 大和御所道路周辺には多くの工業団地が位置し、道路整備に伴い企業立地が進展。
- 奈良県の工場立地件数は過去12年で約300件増加しており、今後のさらなる道路開通により利便性が向上し、企業立地の推進が期待される。

### ▼位置図



### ▼奈良県の工場立地件数の累計



### ▼大和御所道路周辺の主な企業

- 大和御所道路周辺の主な工業団地
- ① ならやま研究パーク
  - ② 西九条工業団地
  - ③ 北ノ庄工業集積地
  - ④ 昭和工業団地
  - ⑤ 奈良県靴工場団地
  - ⑥ 桜井木村天理団地
  - ⑦ 奈良県ハイテク工場団地
  - ⑧ 御所工業団地
  - ⑨ はじかみ工業団地
  - ⑩ 安堵工業団地
  - ⑪ 唐院工業団地
  - ⑫ 結崎工業団地
  - ⑬ テクノパークなら工業団地
  - ⑭ 五條木材工業団地
  - ⑮ 南大和テクノタウン(北宇智工業団地)
  - ⑯ 今井島台工業団地
  - ⑰ 二見川端工業団地
  - ⑱ インテリジェンス用地五條
  - ⑲ 花吉野ガーデンヒルズ



出典: 奈良県企業立地ガイド

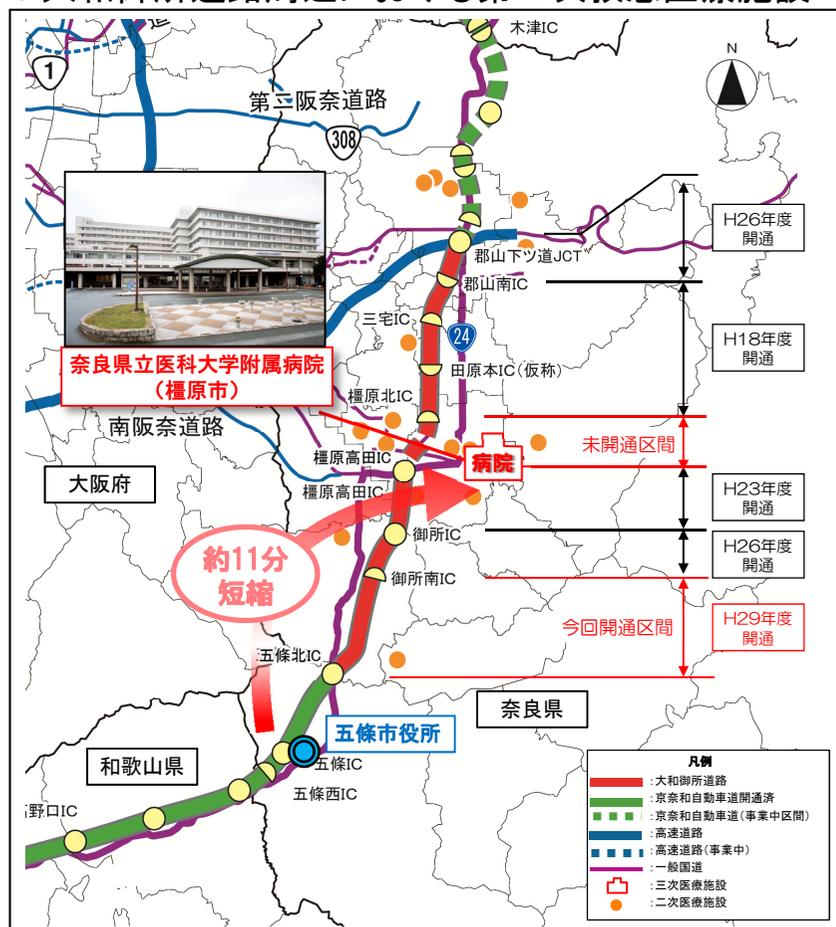
# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

## 2) 事業の整備効果(救急医療体制への支援)

- H29年度に開通した区間(御所南IC~五條北IC)により、第三次救急医療施設である奈良県立医科大学附属病院(橿原市)への救急搬送時間が約11分短縮し、患者への負担軽減に繋がっている。
- 残存する大和御所道路の開通により、国道24号の混雑が解消し、第三次救急医療施設へのさらなる所要時間の短縮や患者への負担軽減等、救急医療への支援が期待される。

### ▼大和御所道路周辺における第三次救急医療施設



### ▼第三次救急医療施設への所要時間の変化



出典:五條消防署搬送実績データ(開通前:H28.8.20~10.31、開通後:H29.8.20~10.31)  
 ※上記の期間で五條市内から奈良県医科大学附属病院への搬送時間を平均して算出  
 ※搬送時間のサンプル件数 開通前:21件、開通後:14件

### ▼京奈和自動車道を走行する救急車両



写真提供:五條消防署

### ▼救急隊員の声

- ・大和御所道路の今回開通区間を通るようになったことで搬送時間短縮や患者への負担軽減に繋がっています。
- ・橿原北IC~橿原高田IC間が繋がりと、橿原高田IC出口付近などの国道24号の渋滞が無くなると、県立医科大学附属病院へのさらなる搬送時間短縮が期待できます。



出典:奈良県広域消防組合消防本部  
 五條消防署 ヒアリング結果(H29.10)

# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

## 3) 事業の投資効果

### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	12,373億円	976億円	282億円	13,631億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	8,164億円		321億円	8,486億円	

### ■ 算出条件等

基準年 : 平成30年度  
 検討期間 : 50年間  
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%  
 交通量の推計時点 : 平成42年度  
 交通量の推計手法 : 平成22年度  
 全国道路・街路交通情勢調査

### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,775億円	114億円	53億円	1,942億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	1,139億円		48億円	1,187億円	

### 適用した費用便益分析

マニュアル : 平成30年2月版  
 事業費 : 5,800億円  
 維持管理費 : 52百万円/km  
 作成主体 : 近畿地方整備局

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の開通により発生する便益で算出している

※4 事業区間を大和御所道路として算出した費用便益比(B/C)【事業全体】1.6【残事業】1.6

# 3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道24号 大和御所道路

## 4) 地域における計画等

### ■ 地域における計画

大和御所道路は、下記の計画に位置付けられています。

- 奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)
- 奈良県都市計画区域マスタープラン(平成23年5月)
- 第四次奈良県国土利用計画(平成21年3月)

### ■ これまでの経緯

- 昭和63年10月 京奈和自動車道整備促進期成同盟会 設立
  - ・構成メンバー 会長:奈良市長(奈良県内の全市町村(12市15町12村))(最近の動向)
  - ・昭和63年～平成29年の毎年秋頃 財務省、国交省、国会議員等へ京奈和自動車道全線の整備促進を要望
- 平成6年7月 京奈和自動車道建設促進奈良県民会議 設立
  - ・構成メンバー 会長:奈良県商工会議所連合会長(奈良県内を代表する民間団体(70団体))(最近の動向)
  - ・平成6年～平成29年の毎年秋頃 財務省、国交省、国会議員等へ京奈和自動車道全線の整備促進を要
- 平成8年10月 京奈和自動車道建設促進協議会 設立
  - ・構成メンバー 会長:奈良県知事(京都府、奈良県、和歌山県)(最近の動向)
  - ・平成8年～平成29年の毎年秋頃 財務省、国交省、国会議員等へ京奈和自動車道全線の整備促進を要望
- 奈良県知事要望
  - ・平成21年～平成29年の年2回程度、財務省、国交省へ大和北道路を含む直轄道路事業の整備促進を要望

# 4. 事業進捗の見込みの視点

一般国道24号 大和御所道路

## 1) 事業の進捗状況

### 平成30年度事業内容

- 現在、調査設計、用地取得、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事を実施しています。

### 進捗状況

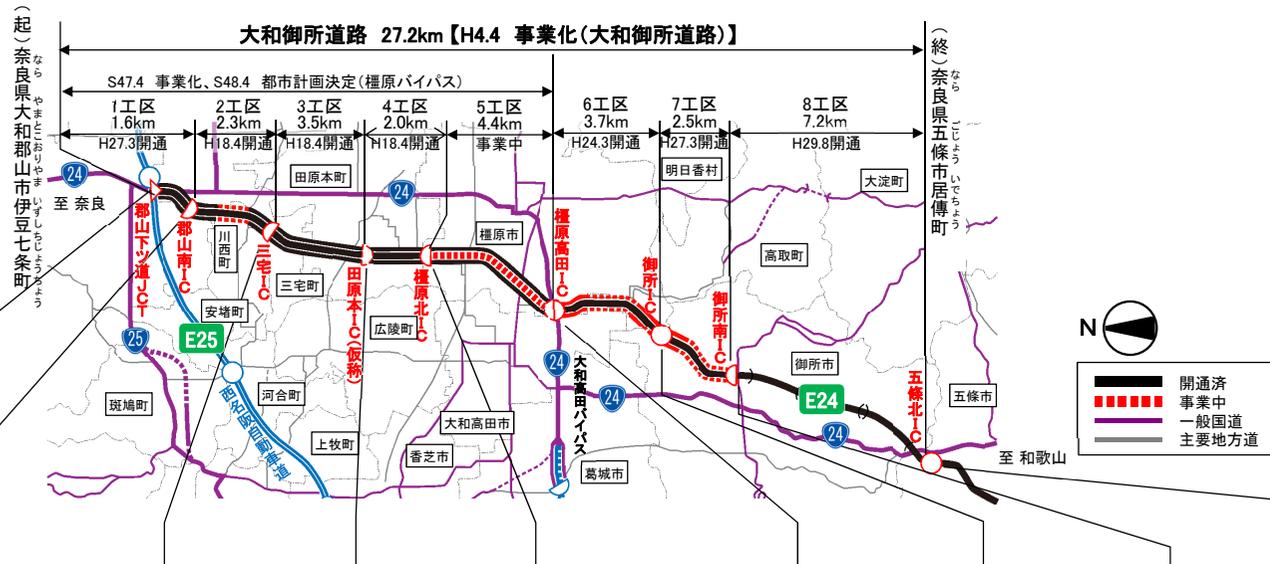
- 平成30年3月末までの進捗は、用地進捗率約99%（面積ベース）、事業進捗率約90%（事業費ベース）です。

### 事業進捗上の課題

- 大きな課題はありません。

## 2) 今後の事業スケジュール等

- 引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。



区間	開通済区間				未開通区間	開通済区間		開通済区間	
用地	約 99%								
	用地取得済				用地推進	用地取得済			
工事	専用部	H27.3.22開通 (4車線)	H18.4.15開通 (4車線)			工事推進	H24.3.25開通 (2車線)	H27.3.21開通 (2車線)	H29.8.19開通 (2車線)
	一般部	H18.4.15開通 (4車線)	H18.8.28開通 (2車線)	調査設計 推進	H27.3.28開通 (2車線)		S58.7月開通 (2車線)	調査設計推進	

※ 用地進捗率は、平成30年3月末の面積ベース

# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

## ■全体事業費の見直し

- 榎原北IC～榎原高田IC間では、当初、都市計画決定時点(H8)に用いた文献及び地質調査結果から事業費を算出。平成28年度以降、本格的な設計に着手し、追加で地質調査を行い設計条件が整ったとともに、周辺環境の変化、関係機関との施工条件等の協議により、事業費増が生じた。(約900億円増)
- 平成29年度に開通した御所南IC～五條北IC間では、切土構造からトンネル構造への変更、残土処分、地山区分の変更による事業費の増加要因が確認され、榎原北IC～榎原高田IC間の増額が明らかとなっていたため、併せて事業費増を行うもの。(約300億円増)

## ■事業費増額の要因

- 掘割区間の仮設工法等の変更による増額。
- 支障物件(上下水道)の対策工事等による増額。
- 橋梁形式の見直しによる増額。
- トンネル構造への変更および残土処分費の増額。

## ■コスト縮減の取組

- 構造、材質の見直しによるコスト縮減。

(億円)

No	主な変更理由	金額	備考
①	掘割区間の仮設工法等の変更による増額	【①-1】仮設土留工法等の変更による増額	+260
		【①-2】非開削推進工法の採用による増額	+100
②	支障物件(上下水道)の対策工事等による増額	上下水道の対策工事等による増額	+290
③	橋梁構造の見直しによる増額	橋梁構造の見直しによる増額	+255
④	トンネル構造への変更および残土処分費の増額	【④-1】トンネル構造への変更による増額	+148
		【④-2】トンネル残土処分費の増額	+86
		【④-3】地山区分の変更に伴う支保パターンの変更による増額	+66
⑤	コスト縮減	構造、材質の見直しによるコスト縮減	-5
合計			+1,200

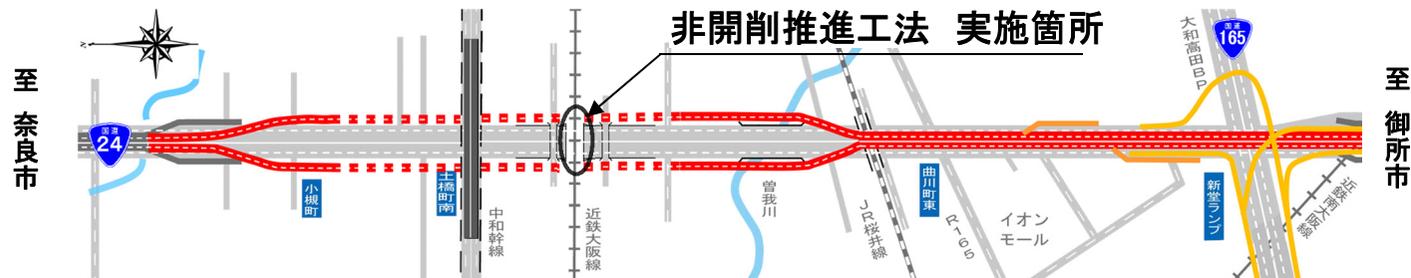


# 5. 事業費の見直し

## 【①-2】非開削推進工法の採用による増 (+100億円)

- 都市計画決定時点では、横断する鉄道下を横断する函渠部施工を工事桁による開削施工で計画。
- 詳細設計時の関係機関協議等において、列車運行への影響を最小限とする工法検討が必要となり、非開削推進工法に変更したことによる増。

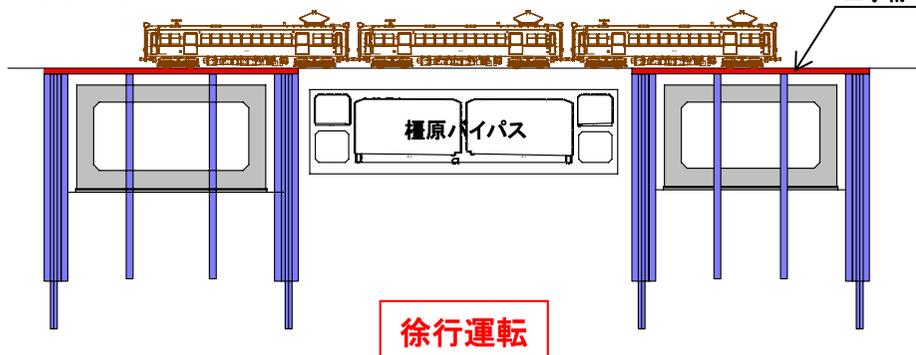
### ■ 位置図



### ■ 施工概要

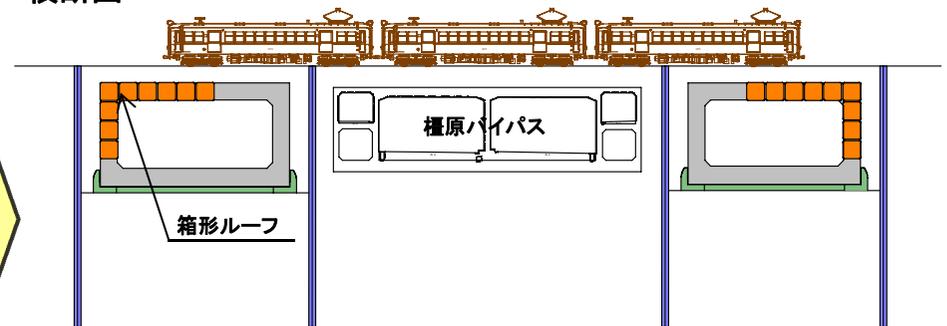
【当初】工事桁工法

横断面

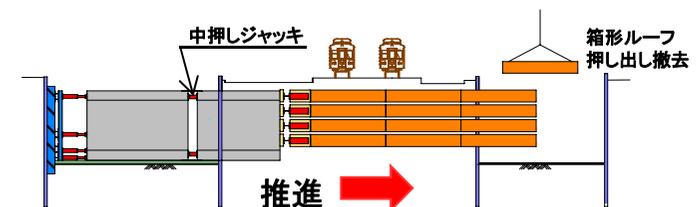


【変更】非開削推進工法

横断面



縦断面

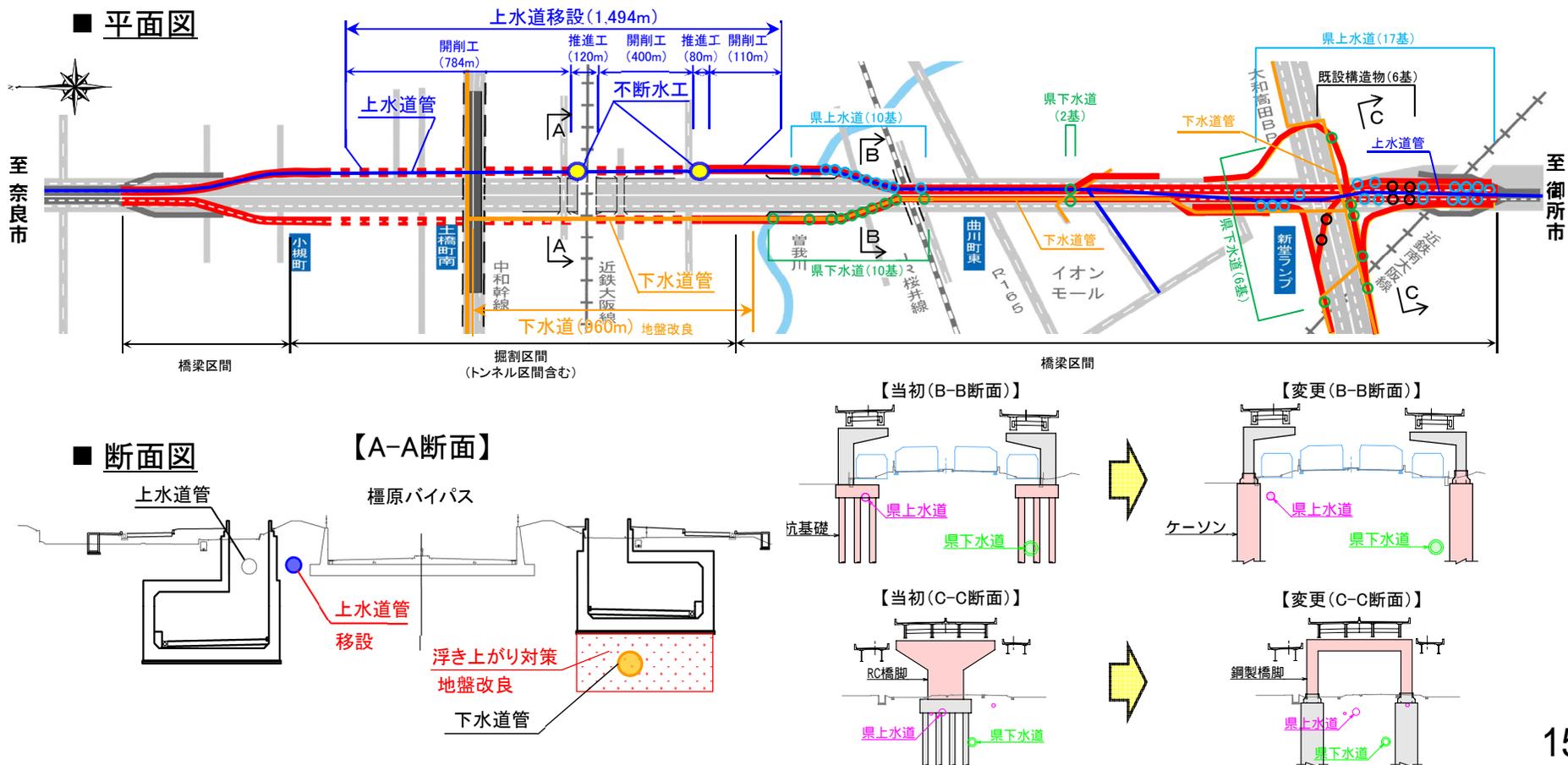


# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

## 【②】 上下水道の対策工事等による増額 (+290億円)

- 都市計画決定時点では、上下水道は道路占用企業者の負担による移設を予定していたが、詳細設計時の占用企業者と移設協議において、占用企業者へ過度な費用負担等を与えることから、原因者である道路事業者により、上下水道の対策工事を行うことを判断。
- 掘割区間では、上水道の水道管移設補償、下水道の浮き上がり防止対策の追加に伴う増。
- 橋梁区間では、上下水道管の移設費と比較のうえ、橋梁基礎構造を変更したことに伴う増。



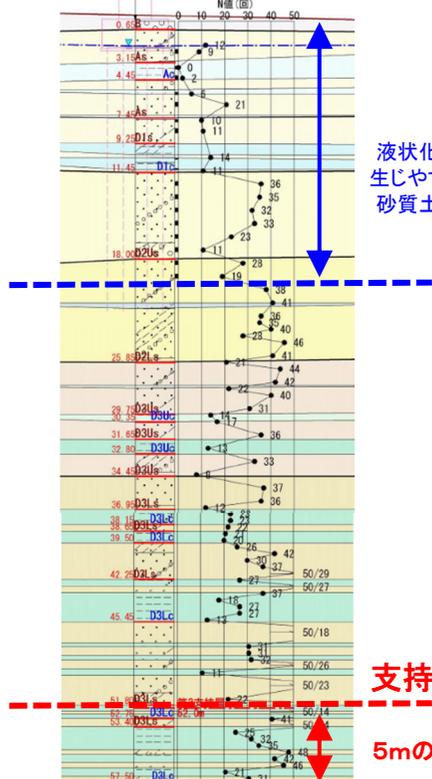
# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

## 【③】 橋梁構造の見直しによる増額 (+255億円)

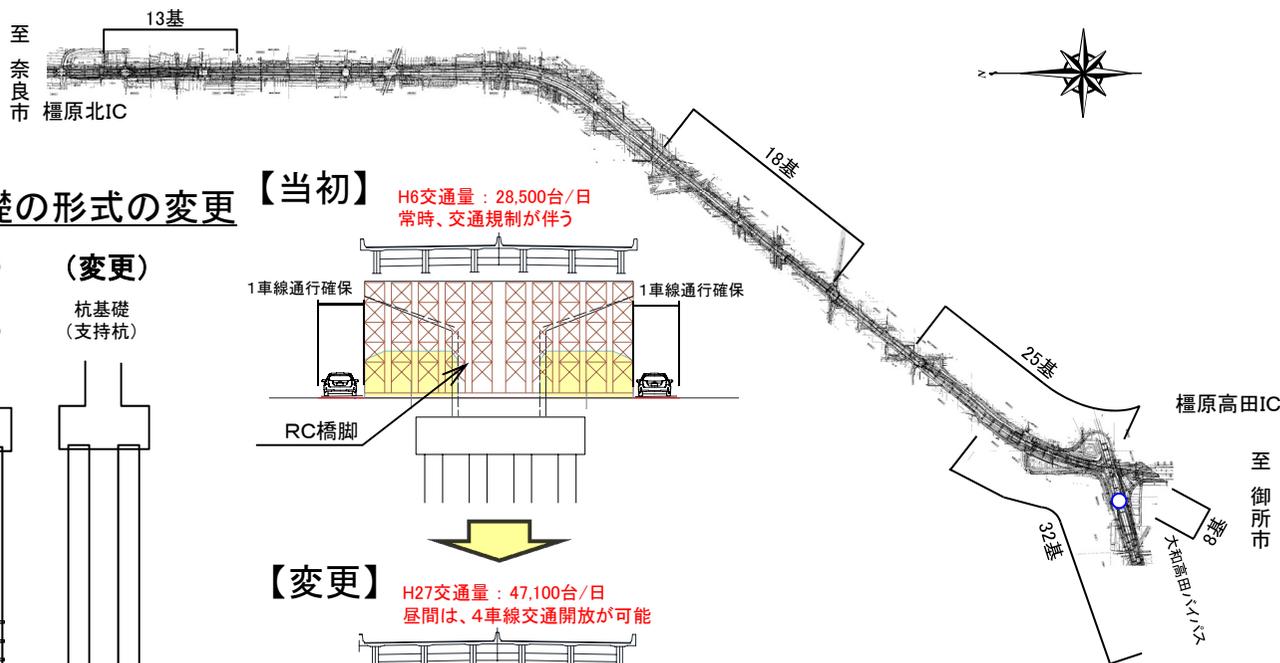
- 都市計画決定時点では、地質調査結果から橋梁基礎構造を摩擦杭で計画。
- 詳細設計時点で各橋脚部の地質調査を行ったところ、液状化対策が必要となり支持杭へ変更したことによる増。
- 車線規制にかかる関係機関との協議の結果、当初想定していた車線規制が不可となり、規制による影響を最小限とするため、鋼製橋脚への変更が必要になったことによる増。

### ■ 地質断面図

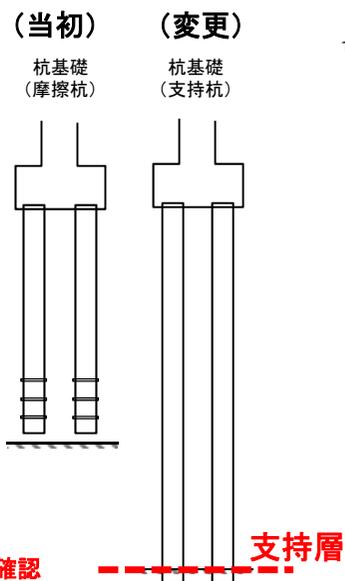


### ■ 位置図

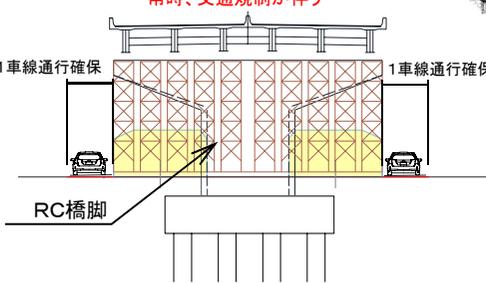
至奈良市 橿原北IC



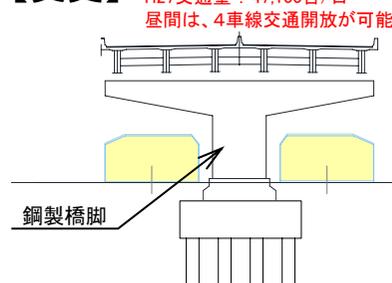
### ■ 杭基礎の形式の変更



### 【当初】



### 【変更】



○ 当初のボーリング調査

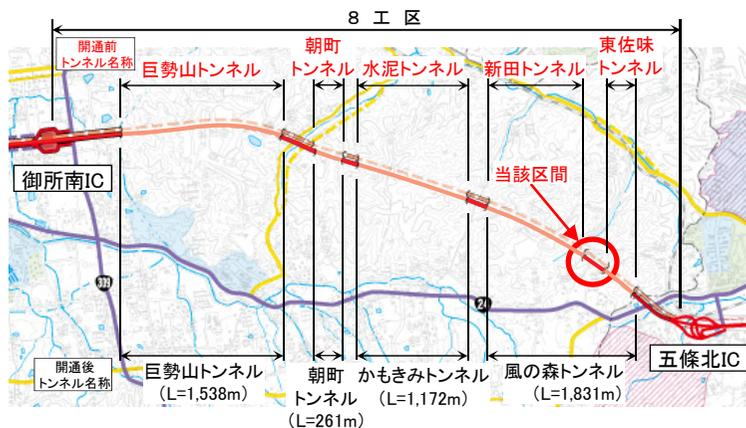
# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

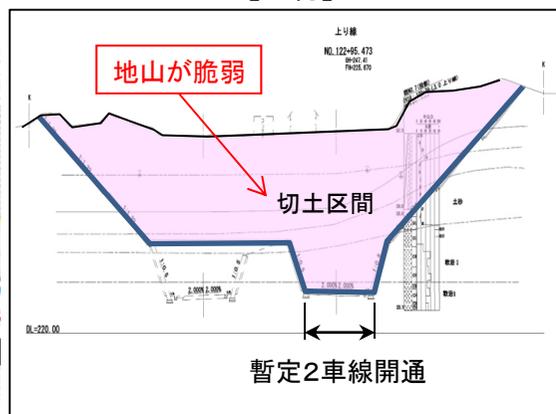
## 【④-1】トンネル構造への変更による増 (+148億円)

- 当初設計では、新田<sup>しん でん</sup>トンネルと東佐味<sup>ひがし さ び</sup>トンネル間は、切土構造により計画。
- 詳細設計時の地質調査において、地山が脆弱であり、地すべり等の恐れがあることが判明。
- 開通後の安全確保のため、トンネル構造への変更が必要になったことによる増。

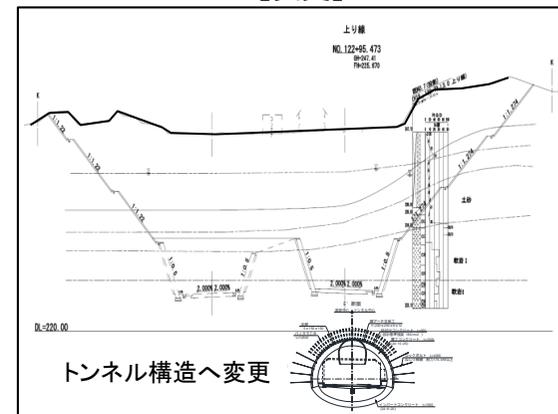
### ■ 位置図



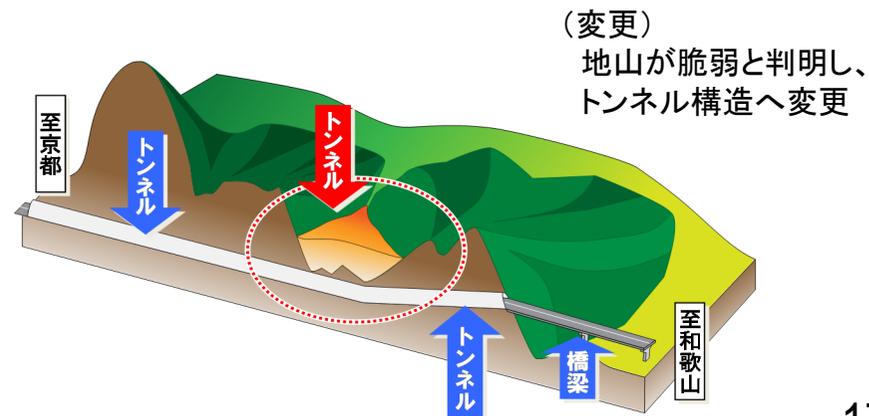
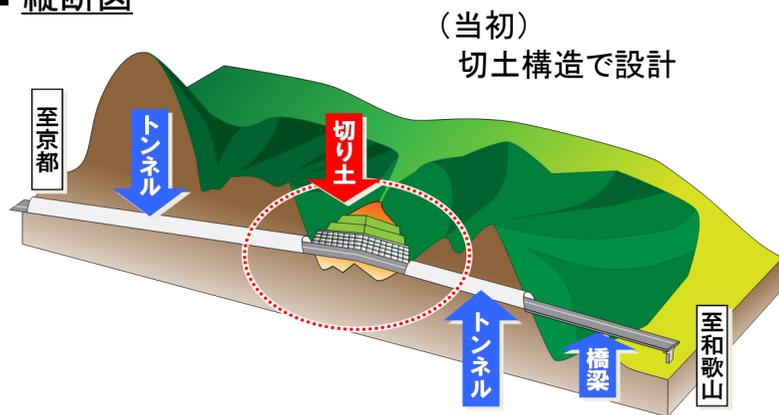
### ■ 断面図 【当初】



### ■ 【変更】



### ■ 縦断図



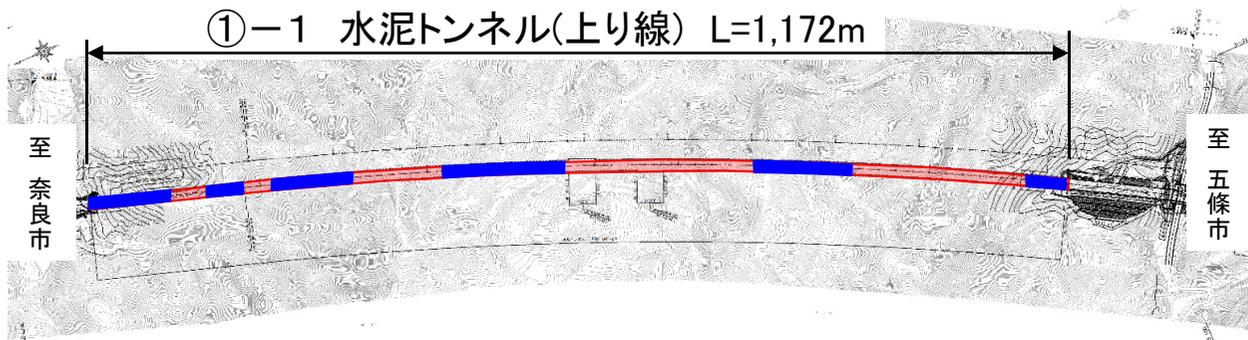
# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

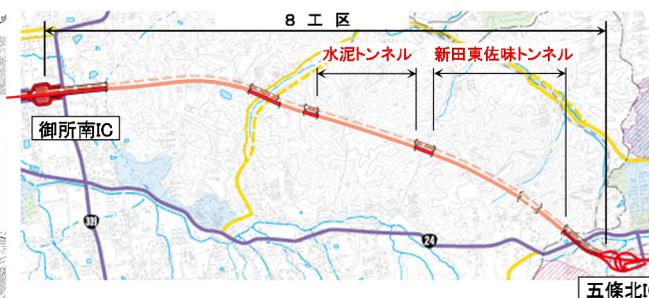
## 【④-2】トンネル残土処分費の増 (+86億円)

- 当初、既往文献、地質調査では、基準値を超える汚染土壌が確認されず、処分費は計上していなかった。
- 水泥トンネル、新田東佐味トンネルの掘削にあたり、基準値を超える砒素を含んでいることが確認され、試料の溶出試験・含有試験を実施したところ、基準値を超える砒素を含む掘削土が多く確認されたことから、有料処分場への運搬・処分が必要となったことによる増額。

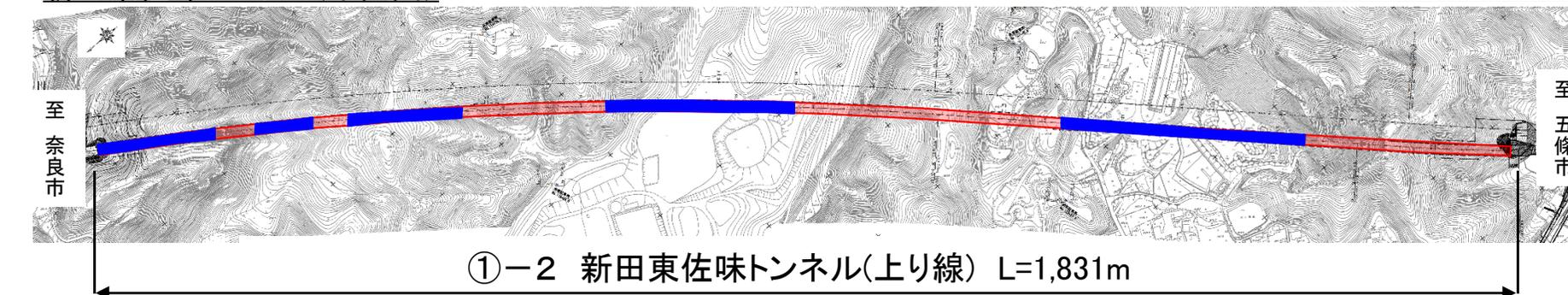
### ■ 水泥トンネル(平面図)



### ■ 位置図



### ■ 新田東佐味トンネル(平面図)



ヒ素検出範囲  
検出実績 : ■

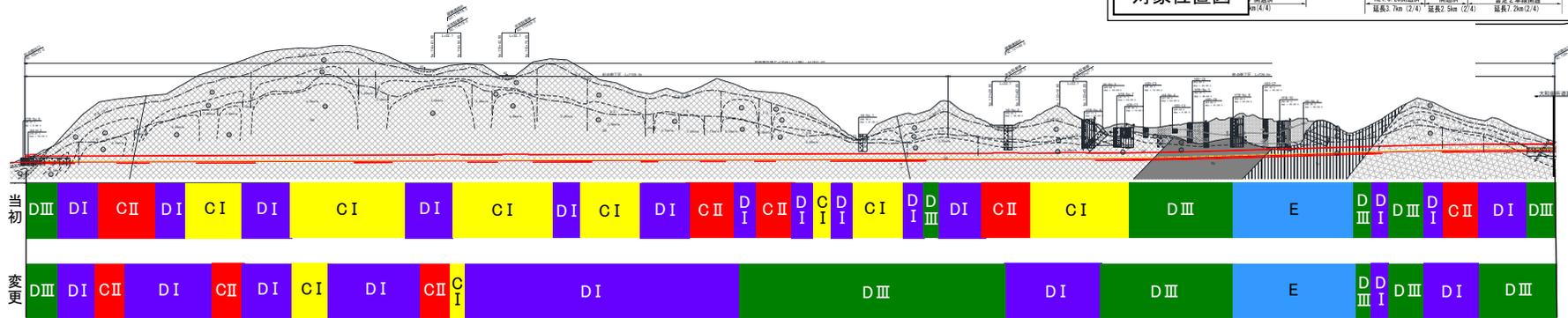
# 5. 事業費の見直し

一般国道24号 大和御所道路

## 【④-3】地山区分の変更に伴う支保パターンの変更による増 (+66億円)

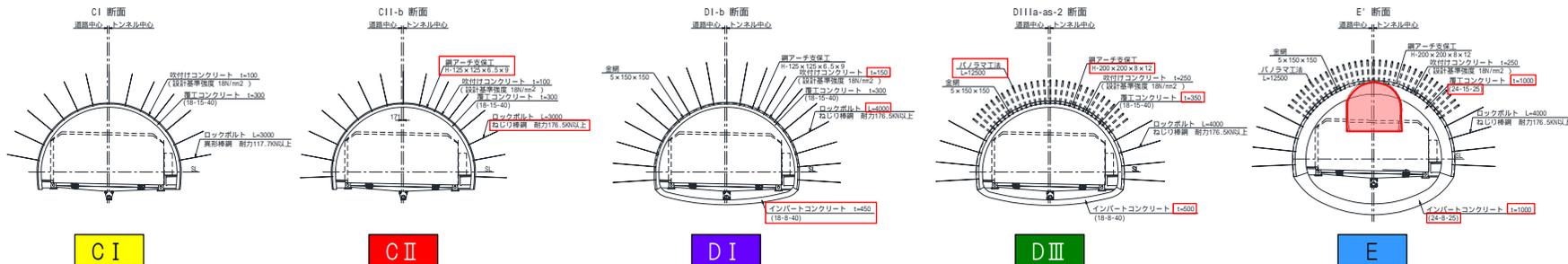
- 当初、地質調査を基に詳細設計を行い、<sup>みどろ</sup> 水泥トンネル(上り線)及び<sup>しん でん ひがし さ び</sup> 新田東佐味トンネル(上り線)については、トンネル支保パターンを想定。
- トンネル施工時の岩判定で、地山区分が当初想定よりも悪かったため、支保パターンに変更が生じたことによる増。

### ■ 新田東佐味トンネル(上り線)地質縦断面図



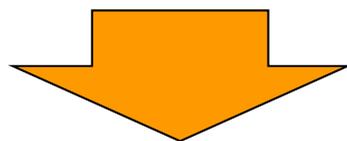
### 【支保パターン図】

※ 地山区分E区間では、先進導坑を用いた薬液注入による補助工法を実施



## 6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点 一般国道24号 大和御所道路

大和御所道路は、京奈和自動車道の一部を形成する高規格幹線道路であり、大和平野の交通混雑の緩和や交通安全の確保及び広域連携により地域の産業を支援するとともに、周辺的环境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の活用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

# 7. 関係自治体の意見

一般国道24号 大和御所道路

## ■ 奈良県知事

平成30年11月7日 道建第110号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

京奈和自動車道は、奈良県の南北の基軸であり、働く場の確保に向けた企業誘致や地域経済活動の拡大といった本県の地方創生の実現に欠くことのできない重要な高規格幹線道路です。

大和御所道路で事業中の区間である橿原北ICから橿原高田IC間は西名阪自動車道以南、阪和道と歌山JCTまでの間で唯一のミッシングリンクとなり、並行する国道24号における慢性的な渋滞のさらなる悪化や、供用の目途の立たない状況が続けば、新たな雇用を生み出す企業の新規立地が停滞し、本県の地方創生の基本目標である「働いて良し」の実現に甚大な影響を及ぼします。

以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていることから、本県と速やかな情報共有を図っていただくとともに、県としては、引き続き円滑な事業推進のための環境整備や沿線自治体との連携・協力を努めますので、一日も早い全線供用をお願いします。

## ◆沿線市町村の期待

### ■天理市長

#### (期待する効果)

##### ①観光

- ・奈良、和歌山など世界遺産を有する地域間のアクセス性が向上し、沿線地域である本市においても観光客数が増加。
- ・天理教教会本部がある本市において、県内外からのアクセスが向上することにより訪問者が増加、合わせて市内中心部の観光にも寄与。

##### ②地域の活性化

- ・広域的な道路ネットワークが形成されることで、本市の中心的拠点である天理駅周辺や北部地区・高原地区へのアクセスが向上し、地域経済が活性化。

##### ③行政の広域化

- ・名阪国道と大和御所道路が郡山下ツ道JCTにより接続されたことで、計画中の県内10市町村におけるごみ処理の広域化が可能。さらなる交通アクセス整備が、より行政間の連携や効率化に寄与。

##### ④企業立地

- ・和歌山、大阪、名古屋、関空からの広域的な物流ルートの確保により進出企業が増加。

#### (市の取り組み)

##### ①観光

- ・多彩な観光資源や古墳群、山の辺の道等、自然・歴史文化遺産を活用した市内周遊観光ルートの充実を図ると共に、県内周遊ルートの拠点として近隣市町村との連携強化を推進。
- ・外国人観光客も視野に入れ、外国人向けパンフレットの作成や、観光拠点にWi-Fi環境の整備を推進。

##### ②地域の活性化

- ・市内拠点を結ぶ道路整備を推進((都)東井戸堂西長柄線整備等)。
- ・街づくり協議会を立上げ、地域の魅力を活かす活性化プロジェクトを創案し、にぎわいのある地域づくりを推進。

##### ③行政の広域化

- ・山辺・県北西部広域環境衛生組合により、ごみ処理広域化の取り組みを推進。

##### ④企業立地

- ・企業立地の指定要件の緩和をはじめ指定業種や指定地域・奨励措置を拡大するなど、利用しやすい企業立地支援制度の整備を推進。
- ・県や関係機関との連携を図りながら積極的な企業誘致プロモーションを推進。

## ◆沿線市町村の期待

### ■川西町長

#### (期待する効果)

##### ①防災

- ・ 大和御所道路の全面開通により、大規模災害発生時の広域的で迅速な救助や支援。
- ・ 本線及び一般部を活用した、周辺市町村との迅速な救援物資の相互支援。
- ・ 一般部の残区間が開通することで、4河川に囲まれる本町に重要な、新たな渡河避難ルートの確保。

##### ②企業立地

- ・ 県内外へのアクセス向上により、本町への企業ニーズが高まることで、都市圏からの企業移転の促進。
- ・ 本町へのアクセス向上により、町内企業の雇用確保が容易になり、企業の成長の促進。
- ・ 上記、企業移転促進と企業成長促進に伴って、税収の増加と人口減少に歯止め。

##### ③地域の活性化

- ・ 地域間交通の利便性が向上し、隣接市町とのつながりの強化による、中心市街地(結崎駅周辺)の活性化。
- ・ 町外への通勤時間短縮に伴って、町外への転出が抑制されることで、人口減少に歯止め。
- ・ 一般部の残区間が開通することで、通過交通が交通転換・分散され、中心市街地での渋滞緩和。

#### (町の取り組み)

##### ①防災

- ・ 平成29年8月に定住自立圏共生ビジョンを更新し、「大和まほろば定住自立圏」として相互支援体制を推進。
- ・ 平成27年2月に「災害時における奈良県市町村相互応援に関する協定」を奈良県全体で締結。

##### ②企業立地

- ・ 奈良県と連携し、本町にある工業団地の拡張に取り組んでおり、新たな産業用地の創出を推進。このため、平成29年9月に「唐院工業団地周辺地区に係る奈良県と川西町の工業ゾーン創出に関する連携協定」を締結。

##### ③地域の活性化

- ・ 奈良県とまちづくり連携協定を平成28年8月に締結。平成32年度の事業完了を目標に結崎駅周辺整備事業を推進。
- ・ 結崎駅を交通結節点として、周辺市町からの乗り入れを視野に入れた地域交通連携を推進。平成29年10月より、天理市コミュニティバスが結崎駅に乗り入れ開始。

## ◆沿線市町村の期待

### ■田原本町長

#### (期待する効果)

##### ① 観光

- ・ 大和御所道路の全面開通により、地域間のアクセス性が向上し、沿線地域である本町においても観光客数が増加。

##### ② 企業立地

- ・ アクセス向上による新規企業の進出、町内企業の雇用確保が容易になり、企業の成長が促進。

##### ③ 地域の活性化

- ・ 地域間交通の利便性が向上し、隣接市町とのつながりが強化されることで、住民の生活利便性が向上。

#### (町の取り組み)

##### ① 観光

- ・ 道の駅「レスティ唐古・鍵」を平成30年4月に開設。  
京奈和自動車道三宅IC近傍の立地条件を活かし、観光客増加を促進。

##### ② 企業立地

- ・ 奈良県と「十六面・西竹田地区に係る工業ゾーン創出に関する連携協定」を締結するとともに、課税免除や奨励金などの企業立地促進事業による優遇制度を活用した産業の集積と雇用の場の創出を推進。

##### ③ 地域の活性化

- ・ 広域交通網である京奈和自動車道を活かし、住民の利便性向上と本町の発展に寄与する幹線道路や住民の生活に密接の関わる生活道路の整備を推進。

## ◆沿線市町村の期待

### ■ 橿原市長

#### (期待する効果)

- ① 定時性の確保(西名阪自動車道以南唯一のミッシングリンク解消)
  - ・ 中南和地域の玄関口である大和八木駅周辺の慢性的な交通渋滞解消、交通事故減少。
- ② 観光(大阪府、和歌山県との広域圏のアクセス向上)
  - ・ 藤原京、キトラ古墳など高取町や明日香村と一体となった歴史文化遺産への広域周遊観光客数・宿泊者数の増加。
- ③ 防災・救急
  - ・ 中和地域における高度医療拠点である奈良県立医科大学附属病院の広域的な防災・救命救急機能の向上。
- ④ 地域の活性化(地域間のアクセスの向上)
  - ・ 大和高田バイパス・南阪奈道路と一体となった、奈良県の中南和地域と大阪府を結ぶ広域的道路ネットワークが形成されることによる京奈和道沿線での新たな企業の進出・物流の効率化。
  - ・ 交通利便性の向上による就業者の増加、新たなしごと・新たな雇用(観光交流産業・かしはら版ヘルスケア産業等)の創出。

#### (市の取り組み)

- ① 定時性の確保
  - ・ 京奈和道と市北部地域の工業流通ゾーンへのアクセスルート(小槻町・十市町線)を整備(平成30年4月)。
  - ・ 有事の際に重要となる奈良県立医科大学附属病院や防災施設(警察・広域消防・市防災本部)へのアクセスルート(慈明寺町・四条町線)の整備を推進(平成38年度供用予定)。
- ② 観光
  - ・ 橿原市と高取町と明日香村が一体となり、平成27年に日本遺産第1号となった「日本国創生のとき～飛鳥を翔けた女性たち～」の活用、また「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の取り組みを推進。
  - ・ 平成5年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された今井町の町並み保存及び景観の保全・整備を推進。
- ③ 防災・救急(医学を基礎とするまちづくり(MBT)に取り組む奈良県立医科大学附属病院を中心としたまちづくり)
  - ・ 奈良県立医科大学附属病院と医大新キャンパス間の道路整備及び新駅構想の整備を推進。
- ④ 地域の活性化
  - ・ 京奈和道沿線(新堂町地区)での大規模商業施設の拡張計画の促進支援。
  - ・ 市北部地域の工業流通ゾーンにおける工業系施設の拡張計画の支援。

## ◆沿線市町村の期待

### ■大和高田市長

#### (期待する効果)

##### ①地域の活性化

- ・ 地域間交通の利便性が向上し、近隣市町とのつながりが強化されることで、中心市街地が活性化。

##### ②行政の広域化

- ・ 大和高田市では奈良県内10市町村で構成する山辺・県北西部広域環境衛生組合によるごみ焼却施設の共同利用を推進しており、天理市に建設が予定されているごみ焼却施設までの運搬時間が短縮。

##### ③企業立地

- ・ 広域的な物流ルート確保による進出企業の増加。

#### (市の取り組み)

##### ①地域の活性化

- ・ 市内の主要な都市計画道路及び大和御所道路へのアクセス道路の整備を促進し、狭隘道路の計画的な改良等により、円滑に通行できる交通体系の確立を推進。
- ・ 平成29年10月には、「大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり基本構想」を策定し、大和高田市の都市機能の集積とにぎやかな交流拠点となるシビックコアをまちづくりのコンセプトとして、シビックコア周辺地区の形成を適切かつ計画的に推進。

##### ②行政の広域化

- ・ ごみ焼却施設の共同利用化により必要となるごみ中継施設建設の推進。

##### ③企業立地

- ・ 市内に商工業施設を新たに設置する事業者への奨励金制度の創設。

# 7. 関係自治体の意見

一般国道24号 大和御所道路

## ◆沿線市町村の期待

### ■御所市長

#### (期待する効果)

##### ①観光

- ・平成29年8月に京奈和自動車道御所南IC～五條北IC間が開通し、関西国際空港に直結したことにより、御所南ICを観光の玄関口としてインバウンドも含めた観光客数の増加に期待。

##### ②地域の活性化

- ・市内外の地域間アクセスが向上することで、隣接市町との自動車交通により人の行き来が盛んになる、まちの活性化。

##### ③企業立地

- ・大阪府や和歌山県、関西国際空港と道路ネットワークが形成されたことで利便性が増した御所IC周辺への新たな企業の進出。

#### (市の取り組み)

##### ①観光

- ・来訪者が御所南ICから都市間交通(国道24号・国道309号・県道御所香芝線)を經由して観光地に向かう案内整備や、観光モデルコースの設定を推進。

##### ②地域の活性化

- ・平成29年11月に御所南PAに併設して地域振興施設「御所の郷」を設置し、来訪者への観光発信と市民への賑わいづくりを推進。

##### ③企業立地

- ・御所IC周辺部に企業誘致に向けた環境整備として、大規模事業用地の確保や広幅員道路等の整備を推進。

## ◆沿線市町村の期待

### ■五條市長

#### (期待する効果)

##### ①観光

- ・ 御所南IC～五條北IC間が平成29年8月に開通したことにより、奈良県下や大阪府、和歌山県とのつながりが強化されることで観光客数の増加に期待。

##### ②地域の活性化

- ・ 五條北IC周辺の南大和テクノタウン等へのアクセス向上による進出企業の増加やそれに伴う雇用の増進に期待。

##### ③行政の広域化

- ・ やまとクリーンパークへのごみ処理に伴う、国道24号の渋滞緩和による運搬時間の短縮に期待。

##### ④防災・救急

- ・ 災害時の救援活動支援ルートへの期待。

#### (市の取り組み)

##### ①観光

- ・ 中南和の中核・五條市のゲートウェイの構築に向けて、観光案内機能の強化・充実を推進。
- ・ 五條ICからの来訪者に向けて観光地への案内・誘導サインの整備や、五條新町地区の景観整備等を推進。

##### ②地域の活性化

- ・ 地元雇用の場を創出するため、誘致対象となる企業への効率的な情報発信や企業訪問活動を充実させ、企業誘致を推進。

# 8. 対応方針(原案)

一般国道24号 大和御所道路

## 1. 事業の必要性等に関する視点

- 未開通区間に並行する国道24号及び一般部は、交通容量を超過。
- 未開通区間は、混雑に起因して発生する追突事故が6割を占めており、残存する区間の整備により交通転換が図られ、国道24号及び一般部は死傷事故率の低下が期待される。
- 南海トラフ巨大地震が発生した場合、京奈和自動車道は新たな救援ルートとして期待される。
- 大和御所道路周辺には多くの工場が立地し、さらなる利便性向上、企業立地の推進が期待される。
- 第三次救急医療施設へのさらなる所要時間の短縮や患者への負担軽減等、救急医療への支援が期待される。
- 費用便益比(B/C)は、事業全体で1.6、残事業で1.6である。

## 2. 事業進捗の見込みの視点

- 大和御所道路は、これまでに専用部の大和区間9.4km及び御所区間13.4kmが開通。
- 大和御所道路は、現在、残る区間の用地買収、改良工事、橋梁下部工事を推進中。
- 大和御所道路は、引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

大和御所道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**



けいな わ

京奈和自動車道

こおりやましもつみち

わかやま

(郡山下ツ道JCT～和歌山JCT)

一般国道24号

やま と ご せ

大和御所道路

【再評価】

( 計算結果等参考資料 )

平成30年11月

近畿地方整備局

No. 3

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成30年度第3回

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道24号 大和御所道路
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.6(経済的純現在価値(B-C)=5146億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.1%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.6(経済的純現在価値(B-C)=756億円、経済的内部収益率(EIRR)=7%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):78528万人・時間/年 渋滞損失削減時間:469万人・時間/年(145390万人・時間/年-144921万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道24号(主)御所香芝線(主)大和高田斑鳩線(県)大和郡山広陵線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:148万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:4割削減	
	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		
	現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道24号(千代田南交差点-四条町交差点)、混雑時旅行速度13.1~19.6km/h 交通減少により改善見込み	
	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通、天理市営バス	
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	五條市~京都駅(所要時間:156分 92分)	
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	五條市~関西国際空港(所要時間:92分 67分)	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	御所市~和歌山下津港(所要時間:85分 68分)
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	五條市:柿、主な出荷先:京浜地域、京阪神地域、仙台市 等
		現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	京阪神都市圏広域防災拠点整備基本構想
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	関西大環状道路
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	京都市～和歌山市間を結ぶ京奈和自動車道の一部を構成する
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	五條市～大和郡山市
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	五條市～大和郡山市(所要時間:113分 49分)
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	奈良県東部(年間観光客入込数:約1806万人/年 H28年)
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が300台/日以上、自動車交通量が1,000台/日以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待される
交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保		三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	五條市～奈良県立医科大学付属病院(橿原市)(所要時間:32分 21分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけられている	奈良県緊急輸送道路ネットワーク計画（第1次緊急輸送道路）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道24号（五條市～奈良市）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	近畿自動車道紀勢線（阪和自動車道）
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：5549.79t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道24号（主）御所香芝線（主）大和高田斑鳩線（県）大和郡山広陵線 排出削減量：35.35t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：34.99t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道24号（主）御所香芝線（主）大和高田斑鳩線（県）大和郡山広陵線 排出削減量：2.04t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：1.61t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	「奈良県道路整備基本計画H26.7（骨格幹線道路ネットワーク）」「奈良県都市計画区域マスタープランH23.5変更（骨格幹線道路ネットワーク、広域連携）」「第四次奈良県国土利用計画H21.3（骨格幹線道路ネットワーク）」
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
一般国道24号	郡山下ッ道JCT～和歌山JCT	L = 75.5km	高規格	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
35,800	4	近畿地方整備局

### 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	5,517億円	652億円	6,169億円
うち残事業分	1,485億円	164億円	1,649億円
基準年における 現在価値 (C)	8,164億円	321億円	8,486億円
うち残事業分	1,139億円	48億円	1,187億円

### 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成19年度、平成24年度、平成27年度、平成30年度、平成41年度			
単年便益 (初年便益)	228億円	16億円	3.8億円	248億円
基準年における 現在価値 (B)	12,373億円	976億円	282億円	13,631億円
うち残事業分	1,775億円	114億円	53億円	1,942億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

## 結 果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	5,146億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.1%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	756億円
経済的内部収益率（残事業）	7.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 感 度 分 析

### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	35,800台/日	± 10%	1.3 ~ 1.9
事業費	1,485億円	± 10%	1.6 ~ 1.6
事業期間	10年	± 20%	1.6 ~ 1.6

### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	35,800台/日	± 10%	1.3 ~ 2.0
事業費	1,485億円	± 10%	1.5 ~ 1.8
事業期間	10年	± 20%	1.5 ~ 1.7

# 交通状況の変化

様式 - 3

## 事業名：郡山下ッ道JCT～和歌山JCT（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (27.2km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	35,800	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	21	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	136.20	
主な周辺道路 <sup>4</sup>	一般国道24号 (25.1km)	交通量	[台/日]	24,500	11,000
		走行時間	[分]	80	52
		走行時間費用	[億円/年]	377.52	116.21
	(主)御所香芝線 (16.4km)	交通量	[台/日]	9,600	1,900
		走行時間	[分]	37	27
		走行時間費用	[億円/年]	64.77	9.08
	(主)大和高田斑鳩線 (9.4km)	交通量	[台/日]	12,500	7,600
		走行時間	[分]	25	21
		走行時間費用	[億円/年]	54.99	29.31
	(県)大和郡山広陵線 (6.8km)	交通量	[台/日]	10,100	2,600
		走行時間	[分]	15	11
		走行時間費用	[億円/年]	28.85	5.68
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (26,537.0km)	走行時間費用	[億円/年]	90,596.11	90,344.03	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,621.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	91,122.24	90,640.49	481.75

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( ) に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化

様式 - 3

## 事業名：郡山下ッ道JCT～和歌山JCT（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (4.4km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	35,900	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	3	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	22.04	
主な周 辺道路 <sup>4</sup>	一般国道24号 (25.1km)	交通量	[台/日]	14,500	11,000
		走行時間	[分]	58	52
		走行時間費用	[億円/年]	168.33	116.21
	(主)御所香 芝線 (16.4km)	交通量	[台/日]	3,300	1,900
		走行時間	[分]	29	27
		走行時間費用	[億円/年]	17.16	9.08
	(主)大和高 田斑鳩線 (9.4km)	交通量	[台/日]	8,000	7,600
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	30.68	29.31
	(県)大和郡 山広陵線 (6.8km)	交通量	[台/日]	2,900	2,600
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	6.05	5.68
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (26,559.8km)	走行時間費用	[億円/年]	90,555.01	90,458.19	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,621.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	90,777.22	90,640.49	136.73

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( ) に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：郡山下ッ道JCT～和歌山JCT

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他( BPR関数と転換率式の併用による配分 )	<input checked="" type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定





## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道24号 郡山下ッ道JCT～和歌山JCT

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)	
				0.81	4.4	3.55	
-10年目	H 31	0.9615	102.8	83.52	80.30		
-9年目	H 32	0.9246	102.8	83.39	77.10		
-8年目	H 33	0.8890	102.8	92.59	82.31		
-7年目	H 34	0.8548	102.8	101.85	87.06		
-6年目	H 35	0.8219	102.8	101.85	83.71		
-5年目	H 36	0.7903	102.8	111.11	87.81		
-4年目	H 37	0.7599	102.8	138.89	105.54		
-3年目	H 38	0.7307	102.8	166.67	121.78		
-2年目	H 39	0.7026	102.8	185.19	130.11		
-1年目	H 40	0.6756	102.8	419.48	283.40		
供用開始年次	H 41	0.6496	102.8			3.29	2.14
1年目	H 42	0.6246	102.8			3.29	2.05
2年目	H 43	0.6006	102.8			3.29	1.97
3年目	H 44	0.5775	102.8			3.29	1.90
4年目	H 45	0.5553	102.8			3.29	1.83
5年目	H 46	0.5339	102.8			3.29	1.75
6年目	H 47	0.5134	102.8			3.29	1.69
7年目	H 48	0.4936	102.8			3.29	1.62
8年目	H 49	0.4746	102.8			3.29	1.56
9年目	H 50	0.4564	102.8			3.29	1.50
10年目	H 51	0.4388	102.8			3.29	1.44
11年目	H 52	0.4220	102.8			3.29	1.39
12年目	H 53	0.4057	102.8			3.29	1.33
13年目	H 54	0.3901	102.8			3.29	1.28
14年目	H 55	0.3751	102.8			3.29	1.23
15年目	H 56	0.3607	102.8			3.29	1.19
16年目	H 57	0.3468	102.8			3.29	1.14
17年目	H 58	0.3335	102.8			3.29	1.10
18年目	H 59	0.3207	102.8			3.29	1.05
19年目	H 60	0.3083	102.8			3.29	1.01
20年目	H 61	0.2965	102.8			3.29	0.97
21年目	H 62	0.2851	102.8			3.29	0.94
22年目	H 63	0.2741	102.8			3.29	0.90
23年目	H 64	0.2636	102.8			3.29	0.87
24年目	H 65	0.2534	102.8			3.29	0.83
25年目	H 66	0.2437	102.8			3.29	0.80
26年目	H 67	0.2343	102.8			3.29	0.77
27年目	H 68	0.2253	102.8			3.29	0.74
28年目	H 69	0.2166	102.8			3.29	0.71
29年目	H 70	0.2083	102.8			3.29	0.68
30年目	H 71	0.2003	102.8			3.29	0.66
31年目	H 72	0.1926	102.8			3.29	0.63
32年目	H 73	0.1852	102.8			3.29	0.61
33年目	H 74	0.1780	102.8			3.29	0.59
34年目	H 75	0.1712	102.8			3.29	0.56
35年目	H 76	0.1646	102.8			3.29	0.54
36年目	H 77	0.1583	102.8			3.29	0.52
37年目	H 78	0.1522	102.8			3.29	0.50
38年目	H 79	0.1463	102.8			3.29	0.48
39年目	H 80	0.1407	102.8			3.29	0.46
40年目	H 81	0.1353	102.8			3.29	0.44
41年目	H 82	0.1301	102.8			3.29	0.43
42年目	H 83	0.1251	102.8			3.29	0.41
43年目	H 84	0.1203	102.8			3.29	0.40
44年目	H 85	0.1157	102.8			3.29	0.38
45年目	H 86	0.1112	102.8			3.29	0.37
46年目	H 87	0.1069	102.8			3.29	0.35
47年目	H 88	0.1028	102.8			3.29	0.34
48年目	H 89	0.0989	102.8			3.29	0.33
49年目	H 90	0.0951	102.8	-3.20	-0.30	3.29	0.31
合計				1481.33	1138.82	164.35	47.69
単純事業費計				1484.53		164.35	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道24号 郡山下道JCT～和歌山JCT

年次	年度 (基準年) H 30	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)			合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (2)×(A)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)～(3)	現在価値 割引率4%
部分供用開始	H 19	0.99798	0.99517	1.01268	0.99970	1.5395	105.0	145.37	44.10	38.66	228.13	343.84	10.94	1.72	3.16	15.82	23.84	3.84	5.78	247.78	373.47
部分1年目	H 20	0.99797	0.99515	1.01252	0.99970	1.4802	104.4	145.08	43.88	39.15	228.11	332.47	10.92	1.71	3.20	15.83	23.07	3.83	5.59	247.77	361.13
部分2年目	H 21	0.99797	0.99512	1.01237	0.99970	1.4233	103.0	144.78	43.67	39.64	228.09	324.01	10.90	1.70	3.24	15.84	22.50	3.83	5.45	247.76	351.96
部分3年目	H 22	1.00594	1.00100	1.02024	1.00671	1.3686	101.3	144.49	43.46	40.13	228.08	316.77	10.88	1.69	3.28	15.85	22.01	3.83	5.32	247.76	344.10
部分4年目	H 23	1.01563	1.01063	1.02987	1.01641	1.3159	99.8	145.35	43.50	40.94	229.79	311.47	10.94	1.69	3.35	15.98	21.66	3.86	5.23	249.63	338.36
部分供用開始	H 24	1.00128	0.99632	1.01512	1.00204	1.2653	99.0	168.66	50.24	46.84	265.74	349.14	13.38	2.16	4.32	19.86	26.10	4.69	6.16	290.29	381.40
部分6年目	H 25	0.99248	0.98754	1.00601	0.99323	1.2167	99.0	168.87	50.06	47.55	266.48	336.67	13.40	2.15	4.38	19.94	25.19	4.70	5.94	291.11	367.79
部分7年目	H 26	1.00446	0.99944	1.01798	1.00523	1.1699	101.5	167.60	49.43	47.83	264.87	313.84	13.30	2.13	4.41	19.83	23.50	4.67	5.53	289.37	342.87
部分供用開始	H 27	0.99307	0.98807	1.00625	0.99382	1.1249	103.0	204.57	57.23	60.69	322.49	362.07	16.78	2.24	5.53	24.55	27.56	6.34	7.11	353.38	396.74
部分9年目	H 28	0.99460	0.98957	1.00763	0.99536	1.0816	102.8	202.15	55.55	61.07	320.77	346.96	16.66	2.21	5.56	24.44	26.43	6.30	6.81	351.51	380.19
部分10年目	H 29	0.99616	0.99110	1.00905	0.99692	1.0406	102.8	202.05	55.96	61.54	319.55	332.33	16.57	2.19	5.61	24.37	25.34	6.27	6.52	350.19	380.19
部分供用開始	H 30	0.99694	0.99185	1.00968	0.99770	1.0000	102.8	220.90	57.81	70.93	349.53	349.53	20.17	2.25	6.98	29.40	29.40	8.23	8.23	387.17	387.17
部分12年目	H 31	0.99920	0.99407	1.01180	0.99996	0.9615	102.8	220.13	57.34	71.61	349.08	335.64	20.11	2.23	7.04	29.39	28.26	8.22	7.90	386.68	371.79
部分13年目	H 32	0.99915	0.98700	1.00675	0.99809	0.9246	102.8	219.95	57.00	72.46	349.40	323.06	20.10	2.22	7.13	29.44	27.22	8.21	7.60	387.06	357.88
部分14年目	H 33	0.99915	0.98683	1.00671	0.99809	0.8890	102.8	219.76	56.25	72.95	348.97	310.23	20.08	2.19	7.17	29.44	26.18	8.20	7.29	386.61	343.70
部分15年目	H 34	0.99915	0.98665	1.00666	0.99808	0.8548	102.8	219.58	55.71	73.44	348.53	297.92	20.06	2.16	7.22	29.45	25.17	8.18	7.00	386.16	330.09
部分16年目	H 35	0.99915	0.98647	1.00662	0.99808	0.8219	102.8	219.39	54.77	73.93	348.09	286.09	20.05	2.13	7.27	29.45	24.20	8.17	6.71	385.70	317.01
部分17年目	H 36	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.7903	102.8	219.20	54.03	74.42	347.65	274.75	20.03	2.10	7.32	29.45	23.27	8.15	6.44	385.25	304.46
部分18年目	H 37	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7599	102.8	219.01	53.29	74.91	347.21	263.84	20.01	2.07	7.37	29.45	22.38	8.14	6.18	384.80	292.41
部分19年目	H 38	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7307	102.8	218.83	52.55	75.40	346.77	253.39	19.99	2.05	7.42	29.45	21.52	8.12	5.93	384.35	280.84
部分20年目	H 39	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7026	102.8	218.64	51.81	75.89	346.33	243.33	19.98	2.02	7.46	29.46	20.70	8.10	5.69	383.89	269.72
部分21年目	H 40	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.6756	102.8	218.45	51.07	76.37	345.89	233.68	19.96	1.99	7.51	29.46	19.90	8.09	5.47	383.44	259.05
供用開始年次	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	202.76	68.03	111.51	345.20	313.30	19.87	1.95	7.59	29.46	18.22	7.94	5.20	382.80	346.11
1年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	302.50	67.03	112.22	481.75	300.90	26.62	2.41	9.25	38.28	23.91	12.19	7.62	532.22	332.43
2年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	300.07	66.41	112.00	478.47	287.37	26.40	2.39	9.23	38.23	22.84	12.10	7.27	528.60	317.48
3年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	297.64	65.79	111.77	475.20	274.43	26.19	2.37	9.22	37.77	21.81	12.01	6.94	524.99	303.18
4年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	295.21	65.17	111.55	471.93	262.06	25.98	2.34	9.20	37.22	20.83	11.92	6.62	521.37	289.52
5年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	292.78	64.55	111.32	468.65	250.21	25.76	2.32	9.18	37.26	19.90	11.83	6.32	517.75	276.43
6年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	290.35	63.93	111.10	465.38	238.93	25.55	2.30	9.16	37.01	19.00	11.75	6.03	514.14	263.96
7年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	287.92	63.31	110.88	462.11	228.10	25.33	2.28	9.14	36.75	18.14	11.66	5.75	510.52	251.99
8年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	285.49	62.69	110.65	458.83	217.76	25.12	2.26	9.12	36.50	17.32	11.57	5.49	506.90	240.57
9年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	283.06	62.07	110.43	455.56	202.92	24.91	2.23	9.11	36.25	16.54	11.48	5.24	503.28	229.70
10年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	280.63	61.45	110.21	452.29	198.46	24.69	2.21	9.09	35.99	15.79	11.39	5.00	499.67	219.25
11年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	278.20	60.83	109.98	449.02	189.48	24.48	2.19	9.07	35.74	15.08	11.30	4.77	496.05	209.33
12年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	275.77	60.21	109.76	445.74	180.84	24.27	2.17	9.05	35.48	14.40	11.21	4.55	492.43	199.78
13年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	273.34	59.59	109.54	442.47	172.61	24.05	2.14	9.03	35.23	13.74	11.12	4.34	488.81	190.69
14年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	270.91	58.97	109.31	439.20	164.74	23.84	2.12	9.01	34.97	13.12	11.03	4.14	485.20	182.00
15年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	268.48	58.36	109.09	435.92	157.24	23.62	2.10	8.99	34.72	12.52	10.94	3.95	481.58	173.71
16年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	266.05	57.74	108.87	432.65	150.04	23.41	2.08	8.98	34.46	11.95	10.85	3.76	477.96	165.76
17年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	263.62	57.12	108.64	429.38	143.20	23.20	2.06	8.96	34.21	11.41	10.76	3.59	474.34	158.19
18年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	261.19	56.50	108.42	426.10	136.65	22.96	2.03	8.94	33.95	10.89	10.67	3.42	470.73	150.96
19年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	258.76	55.88	108.20	422.83	130.36	22.77	2.01	8.92	33.70	10.39	10.58	3.26	467.11	144.01
20年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	256.33	55.26	107.97	419.56	124.40	22.55	1.99	8.90	33.45	9.92	10.49	3.11	463.49	137.43
21年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	253.90	54.64	107.75	416.28	118.68	22.34	1.97	8.88	33.19	9.46	10.40	2.97	459.87	131.11
22年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	251.46	54.02	107.53	413.01	113.21	22.13	1.94	8.87	32.94	9.03	10.31	2.83	456.26	125.06
23年目	H 64	0.99024</																			

## 便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道24号 郡山下ッ道JCT～和歌山JCT

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	84.50	17.70	34.65	136.85	88.89	6.70	0.49	1.63	8.82	5.73	4.14	2.69	149.81	97.32
1年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	84.43	17.44	34.87	136.73	85.40	6.69	0.48	1.64	8.82	5.51	4.14	2.58	149.69	93.49
2年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	83.75	17.28	34.80	135.82	81.58	6.64	0.48	1.64	8.76	5.26	4.10	2.47	148.69	89.30
3年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	83.07	17.12	34.73	134.91	77.91	6.59	0.47	1.64	8.70	5.02	4.07	2.35	147.69	85.29
4年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	82.39	16.96	34.66	134.01	74.41	6.53	0.47	1.64	8.63	4.79	4.04	2.25	146.68	81.45
5年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	81.71	16.80	34.59	133.10	71.06	6.48	0.46	1.63	8.57	4.58	4.01	2.14	145.68	77.78
6年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	81.03	16.64	34.52	132.19	67.87	6.42	0.46	1.63	8.51	4.37	3.98	2.05	144.68	74.28
7年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	80.36	16.47	34.45	131.28	64.80	6.37	0.45	1.63	8.45	4.17	3.95	1.95	143.68	70.92
8年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	79.68	16.31	34.38	130.37	61.87	6.32	0.45	1.62	8.39	3.98	3.92	1.86	142.68	67.72
9年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	79.00	16.15	34.31	129.46	59.09	6.26	0.45	1.62	8.33	3.80	3.89	1.78	141.68	64.66
10年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	78.32	15.99	34.24	128.55	56.41	6.21	0.44	1.62	8.27	3.63	3.86	1.69	140.68	61.73
11年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	77.64	15.83	34.17	127.64	53.87	6.16	0.44	1.61	8.20	3.46	3.83	1.62	139.68	58.94
12年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	76.96	15.67	34.10	126.73	51.42	6.10	0.43	1.61	8.14	3.30	3.80	1.54	138.68	56.26
13年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	76.29	15.51	34.03	125.83	49.08	6.05	0.43	1.61	8.08	3.15	3.77	1.47	137.68	53.71
14年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	75.61	15.35	33.96	124.92	46.86	5.99	0.42	1.60	8.02	3.01	3.74	1.40	136.68	51.27
15年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	74.93	15.18	33.89	124.01	44.73	5.94	0.42	1.60	7.96	2.87	3.71	1.34	135.68	48.94
16年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	74.25	15.02	33.82	123.10	42.69	5.89	0.41	1.60	7.90	2.74	3.68	1.28	134.68	46.71
17年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	73.57	14.86	33.75	122.19	40.75	5.83	0.41	1.59	7.83	2.61	3.65	1.22	133.67	44.58
18年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	72.90	14.70	33.69	121.28	38.90	5.78	0.41	1.59	7.77	2.49	3.62	1.16	132.67	42.55
19年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	72.22	14.54	33.62	120.37	37.11	5.72	0.40	1.59	7.71	2.38	3.59	1.11	131.67	40.59
20年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	71.54	14.38	33.55	119.46	35.42	5.67	0.40	1.58	7.65	2.27	3.56	1.05	130.67	38.74
21年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	70.86	14.22	33.48	118.56	33.80	5.62	0.39	1.58	7.59	2.16	3.53	1.01	129.67	36.97
22年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	70.18	14.06	33.41	117.65	32.25	5.56	0.39	1.58	7.53	2.06	3.50	0.96	128.67	35.27
23年目	H 64	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2636	102.8	69.50	13.90	33.34	116.74	30.77	5.51	0.38	1.57	7.47	1.97	3.47	0.91	127.67	33.65
24年目	H 65	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2534	102.8	68.83	13.73	33.27	115.83	29.35	5.46	0.38	1.57	7.40	1.88	3.44	0.87	126.67	32.10
25年目	H 66	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2437	102.8	68.15	13.57	33.20	114.92	28.01	5.40	0.37	1.57	7.34	1.79	3.41	0.83	125.67	30.63
26年目	H 67	0.98995	0.98798	0.99790	0.99100	0.2343	102.8	67.47	13.41	33.13	114.01	26.71	5.35	0.37	1.56	7.28	1.71	3.38	0.79	124.67	29.21
27年目	H 68	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2253	102.8	66.79	13.25	33.06	113.10	25.48	5.29	0.37	1.56	7.22	1.63	3.34	0.75	123.67	27.86
28年目	H 69	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2166	102.8	66.11	13.09	32.99	112.19	24.30	5.24	0.36	1.56	7.16	1.55	3.31	0.72	122.67	26.57
29年目	H 70	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2083	102.8	65.43	12.93	32.92	111.28	23.18	5.19	0.36	1.55	7.10	1.48	3.28	0.68	121.67	25.34
30年目	H 71	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2003	102.8	64.76	12.77	32.85	110.38	22.11	5.13	0.35	1.55	7.04	1.41	3.25	0.65	120.66	24.17
31年目	H 72	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.1926	102.8	64.08	12.61	32.78	109.47	21.08	5.08	0.35	1.55	6.97	1.34	3.22	0.62	119.66	23.05
32年目	H 73	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.1852	102.8	63.40	12.45	32.71	108.56	20.10	5.03	0.34	1.54	6.91	1.28	3.19	0.59	118.66	21.98
33年目	H 74	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1780	102.8	62.72	12.28	32.64	107.65	19.16	4.97	0.34	1.54	6.85	1.22	3.16	0.56	117.66	20.94
34年目	H 75	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1712	102.8	62.04	12.12	32.57	106.74	18.27	4.92	0.33	1.54	6.79	1.16	3.13	0.54	116.66	19.97
35年目	H 76	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1646	102.8	61.36	11.96	32.50	105.83	17.42	4.86	0.33	1.53	6.73	1.11	3.10	0.51	115.66	19.04
36年目	H 77	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1583	102.8	60.69	11.80	32.44	104.92	16.61	4.81	0.33	1.53	6.67	1.06	3.07	0.49	114.66	18.15
37年目	H 78	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1522	102.8	60.01	11.64	32.37	104.01	15.83	4.76	0.32	1.53	6.61	1.01	3.04	0.46	113.66	17.30
38年目	H 79	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1463	102.8	59.33	11.48	32.30	103.10	15.08	4.70	0.32	1.52	6.54	0.96	3.01	0.44	112.66	16.48
39年目	H 80	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1407	102.8	58.65	11.32	32.23	102.20	14.38	4.65	0.31	1.52	6.48	0.91	2.98	0.42	111.66	15.71
40年目	H 81	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1353	102.8	57.97	11.16	32.16	101.29	13.70	4.60	0.31	1.52	6.42	0.87	2.95	0.40	110.66	14.97
41年目	H 82	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1301	102.8	57.29	10.99	32.09	100.38	13.06	4.54	0.30	1.51	6.36	0.83	2.92	0.38	109.66	14.27
42年目	H 83	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1251	102.8	56.62	10.83	32.02	99.47	12.44	4.49	0.30	1.51	6.30	0.79	2.89	0.36	108.65	13.59
43年目	H 84	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1203	102.8	55.94	10.67	31.95	98.56	11.86	4.43	0.29	1.51	6.24	0.75	2.86	0.34	107.65	12.95
44年目	H 85	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1157	102.8	55.26	10.51	31.88	97.65	11.30	4.38	0.29	1.50	6.17	0.71	2.83	0.33	106.65	12.34
45年目	H 86	0.98757	0.98443	0.99782	0.98913	0.1112	102.8	54.58	10.35	31.81	96.74	10.76	4.33	0.29	1.50	6.11	0.68	2.80	0.31	105.65	11.75
46年目	H 87	0.98742	0.98418	0.99781	0.98901	0.1069	102.8	53.90	10.19	31.74	95.83	10.24	4.27	0.28	1.50	6.05	0.65	2.77	0.30	104.65	11.19
47年目	H 88	0.98726	0.98393	0.99781	0.98889	0.1028	102.8	53.22	10.03	31.67	94.92	9.76	4.22	0.28	1.49	5.99	0.62	2.74	0.28	103.65	10.66
48年目	H 89	0.98709	0.98367	0.99780	0.98878	0.0989	102.8	52.55	9.87	31.60	94.02	9.30	4.17	0.27	1.49	5.93	0.59	2.71	0.27	102.65	10.15
49年目	H 90	0.98692	0.98340	0.99780	0.98864	0.0951	102.8	51.87	9.71	31.53	93.11	8.85	4.11	0.27	1.49	5.87	0.56	2.68	0.25	101.65	9.67
合 計								3,423.71	682.79	1,661.41	5,767.90	1,775.30	271.41	18.83	78.38	368.62	113.84	171.02	53.02	6,307.55	1,942.16

路線名	箇所名	車線数	延長
京奈和自動車道	大和御所道路	4	4.4km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					119,147	
改良費					33,271	
	土工		m <sup>3</sup>	842,558	2,394	
	軟弱地盤改良工		m <sup>3</sup>	43,880	62	
	法面工		m <sup>2</sup>	27,973	220	
	擁壁工		式	1	30,328	
	函渠工		m	2,152	267	
橋梁費					44,897	
	100m以上		m	13,160	44,897	
	100m未満		m			
トンネル費					35,863	
	NATM		m	4,713	35,863	
	シールド		m			
IC・JCT費					2,484	
	IC		箇所	2	2,484	
	JCT		箇所			
舗装費					2,057	
	車道舗装		m <sup>2</sup>	257,808	1,936	
	歩道舗装		m <sup>2</sup>	57,794	121	
付帯施設費					575	
	交通管理施設工		式	1	495	道路照明、路傍植樹、転落防止柵、ガードレール等
	遮音壁		m	601	80	
②用地及補償費					30,679	
用地費						
	宅地		m <sup>2</sup>	5,214	146	
	田畑		m <sup>2</sup>	6,642	174	
	山林・原野		m <sup>2</sup>			
	その他		m <sup>2</sup>			
補償費					30,359	
③間接経費					10,478	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					160,304	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	大和御所道路	4	27.2km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	27.2	8,450	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	61,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			70,300	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
京奈和自動車道	大和御所道路	4	4.4km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					118,726	
	改良費				33,271	
		土工	m <sup>3</sup>	842,558	2,394	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	43,880	62	
		法面工	m <sup>2</sup>	27,973	220	
		擁壁工	式	1	30,328	
		函渠工	m	2,152	267	
	橋梁費				44,897	
		100m以上	m	13,160	44,897	
		100m未満	m			
	トンネル費				35,442	
		NATM	m	4,713	35,442	
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,484	
		IC	箇所	2	2,484	
		JCT	箇所			
	舗装費				2,057	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	257,808	1,936	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	57,794	121	
	付帯施設費				575	
		交通管理施設工	式	1	495	道路照明、路傍植樹、転落防止柵、ガードレール等
		遮音壁	m	601	80	
②用地及補償費					31,100	
	用地費		m <sup>2</sup>	11,856	741	
		宅地	m <sup>2</sup>	5,214	567	
		田畑	m <sup>2</sup>	6,642	174	
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	30,359	
③間接経費			式	1	10,478	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					160,304	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	大和御所道路	4	4.4km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.4	1,500	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			17,750	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



No. 3  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成30年度第3回

一般国道168号

やま と ご せ  
大和御所道路

【再評価】

( 計算結果等参考資料 )

平成30年11月  
近畿地方整備局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道24号 大和御所道路
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.6(経済的純現在価値(B-C)=5146億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.1%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.6(経済的純現在価値(B-C)=756億円、経済的内部収益率(EIRR)=7%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):78528万人・時間/年 渋滞損失削減時間:469万人・時間/年(145390万人・時間/年 144921万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道24号(主)御所香芝線(主)大和高田斑鳩線(県)大和郡山広陵線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:148万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:4割削減	
	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		
	現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道24号(千代田南交差点~四条町交差点)、混雑時旅行速度13.1~19.6km/h 交通減少により改善見込み	
	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通、天理市営バス	
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	五條市~京都駅(所要時間:156分 92分)	
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	五條市~関西国際空港(所要時間:92分 67分)	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	御所市~和歌山下津港(所要時間:85分 68分)
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	五條市:柿、主な出荷先:京浜地域、京阪神地域、仙台市 等
		現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	京阪神都市圏広域防災拠点整備基本構想
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	関西大環状道路
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	京都市～和歌山市間を結ぶ京奈和自動車道の一部を構成する
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	五條市～大和郡山市
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	五條市～大和郡山市(所要時間:113分 49分)
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	奈良県東部(年間観光客入込数:約1806万人/年 H28年)
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が300台/日以上、自動車交通量が1,000台/日以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待される
交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	五條市～奈良県立医科大学付属病院(橿原市)(所要時間:32分 21分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけられている	奈良県緊急輸送道路ネットワーク計画（第1次緊急輸送道路）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道24号（五條市～奈良市）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	近畿自動車道紀勢線（阪和自動車道）
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：5549.79t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道24号（主）御所香芝線（主）大和高田斑鳩線（県）大和郡山広陵線 排出削減量：35.35t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：34.99t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道24号（主）御所香芝線（主）大和高田斑鳩線（県）大和郡山広陵線 排出削減量：2.04t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：1.61t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	「奈良県道路整備基本計画H26.7（骨格幹線道路ネットワーク）」「奈良県都市計画区域マスタープランH23.5変更（骨格幹線道路ネットワーク、広域連携）」「第四次奈良県国土利用計画H21.3（骨格幹線道路ネットワーク）」
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
一般国道24号	大和御所道路	L = 27.2km	高規格	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
35,800	4	近畿地方整備局

### 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	5,517億円	652億円	6,169億円
うち残事業分	1,485億円	164億円	1,649億円
基準年における 現在価値 (C)	8,164億円	321億円	8,486億円
うち残事業分	1,139億円	48億円	1,187億円

### 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成19年度、平成24年度、平成27年度、平成30年度、平成41年度			
単年便益 (初年便益)	228億円	16億円	3.8億円	248億円
基準年における 現在価値 (B)	12,373億円	976億円	282億円	13,631億円
うち残事業分	1,775億円	114億円	53億円	1,942億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

## 結 果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	5,146億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.1%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	756億円
経済的内部収益率（残事業）	7.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 感 度 分 析

### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	35,800台/日	± 10%	1.3 ~ 1.9
事業費	1,485億円	± 10%	1.6 ~ 1.6
事業期間	10年	± 20%	1.6 ~ 1.6

### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	35,800台/日	± 10%	1.3 ~ 2.0
事業費	1,485億円	± 10%	1.5 ~ 1.8
事業期間	10年	± 20%	1.5 ~ 1.7

# 交通状況の変化

様式 - 3

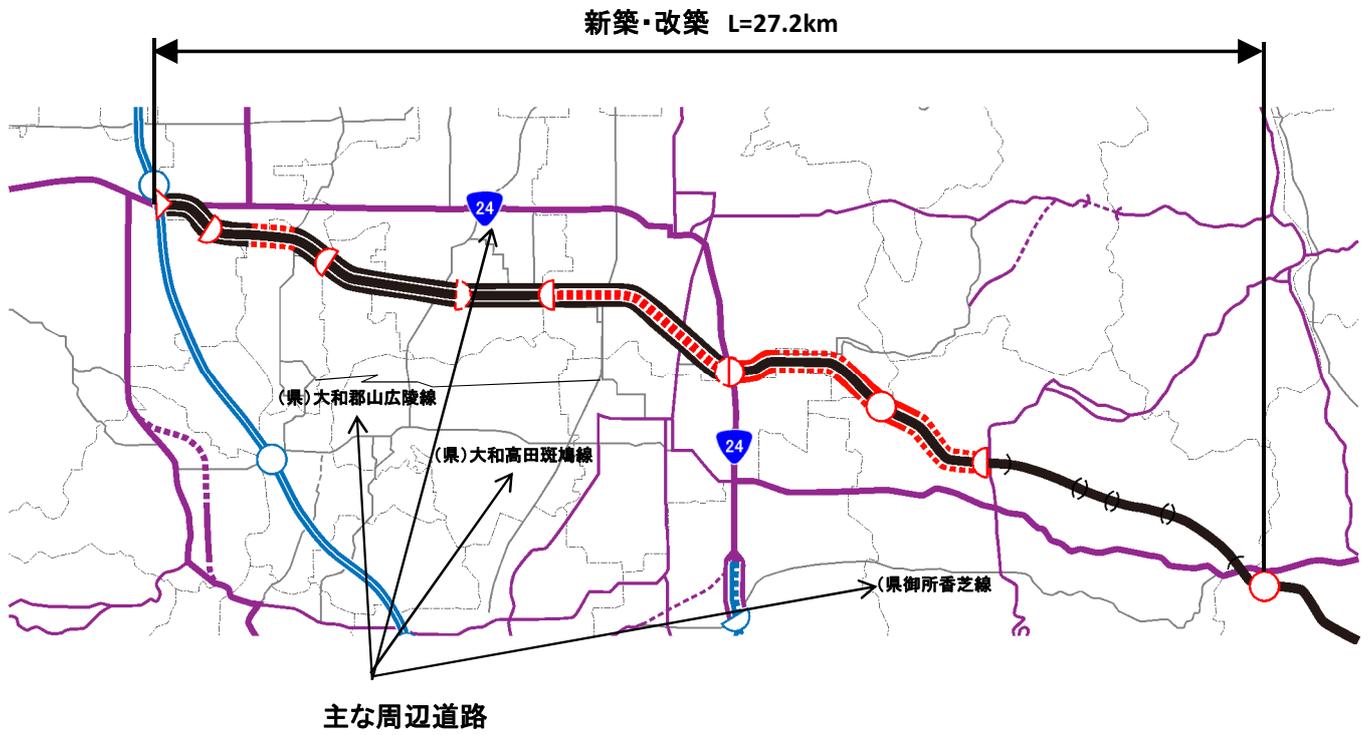
## 事業名：大和御所道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (27.2km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	35,800	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	21	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	136.20	
主な周辺道路 <sup>4</sup>	一般国道24号 (25.1km)	交通量	[台/日]	24,500	11,000
		走行時間	[分]	80	52
		走行時間費用	[億円/年]	377.52	116.21
	(主)御所香芝線 (16.4km)	交通量	[台/日]	9,600	1,900
		走行時間	[分]	37	27
		走行時間費用	[億円/年]	64.77	9.08
	(主)大和高田斑鳩線 (9.4km)	交通量	[台/日]	12,500	7,600
		走行時間	[分]	25	21
		走行時間費用	[億円/年]	54.99	29.31
	(県)大和郡山広陵線 (6.8km)	交通量	[台/日]	10,100	2,600
		走行時間	[分]	15	11
		走行時間費用	[億円/年]	28.85	5.68
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (26,537.0km)	走行時間費用	[億円/年]	90,596.11	90,344.03	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,621.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	91,122.24	90,640.49	481.75

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( ) に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化

様式 - 3

## 事業名：大和御所道路（残事業）

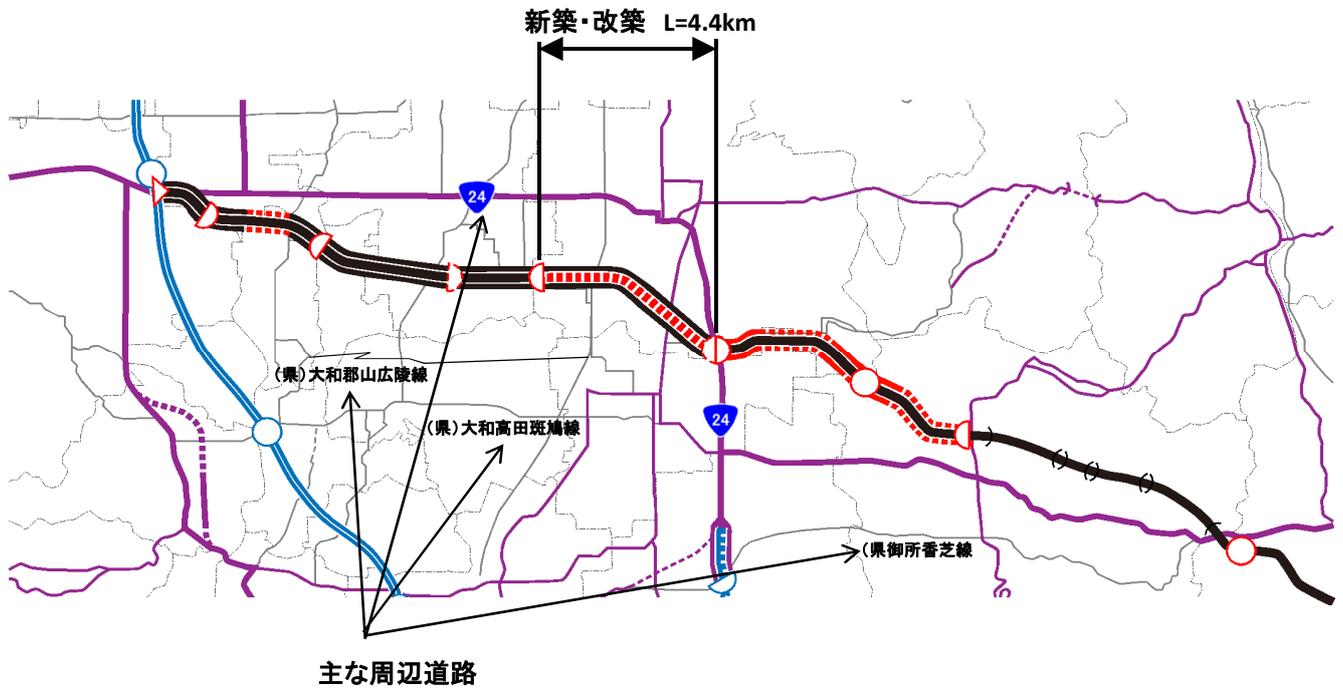
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (4.4km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	35,900	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	3	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	22.04	
主な周 辺道路 <sup>4</sup>	一般国道24号 (25.1km)	交通量	[台/日]	14,500	11,000
		走行時間	[分]	58	52
		走行時間費用	[億円/年]	168.33	116.21
	(主)御所香 芝線 (16.4km)	交通量	[台/日]	3,300	1,900
		走行時間	[分]	29	27
		走行時間費用	[億円/年]	17.16	9.08
	(主)大和高 田斑鳩線 (9.4km)	交通量	[台/日]	8,000	7,600
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	30.68	29.31
	(県)大和郡 山広陵線 (6.8km)	交通量	[台/日]	2,900	2,600
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	6.05	5.68
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (26,559.8km)	走行時間費用	[億円/年]	90,555.01	90,458.19	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,621.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	90,777.22	90,640.49	136.73

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( )、( )に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：大和御所道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成30年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路交通情勢調査)
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定



費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.52	27.2	14.06	
				事業費(億円)		維持管理費(億円)	
年次	年度	割引率	GDP	単価	現在価値	単価	現在価値
			デフレーター				
-57年目	S 47	6.0748	51.8	0.08	0.97		
-56年目	S 48	5.8412	59.6	0.15	1.51		
-55年目	S 49	5.6165	71.1	0.30	2.44		
-54年目	S 50	5.4005	75.2	5.35	39.51		
-53年目	S 51	5.1928	81.5	5.30	34.72		
-52年目	S 52	4.9931	86.4	8.03	47.70		
-51年目	S 53	4.8010	90.0	20.31	111.32		
-50年目	S 54	4.6164	92.4	20.63	105.97		
-49年目	S 55	4.4388	98.2	20.36	94.57		
-48年目	S 56	4.2681	100.7	36.45	158.75		
-47年目	S 57	4.1039	101.9	41.93	173.63		
-46年目	S 58	3.9461	102.9	40.60	160.05		
-45年目	S 59	3.7943	105.0	14.28	53.07		
-44年目	S 60	3.6484	105.7	7.06	25.04		
-43年目	S 61	3.5081	107.6	14.82	49.69		
-42年目	S 62	3.3731	107.3	8.29	26.78		
-41年目	S 63	3.2434	107.9	9.80	30.28		
-40年目	H 1	3.1187	110.8	12.06	34.90		
-39年目	H 2	2.9987	113.3	8.69	23.66		
-38年目	H 3	2.8834	116.0	24.22	61.90		
-37年目	H 4	2.7725	117.6	13.86	33.60		
-36年目	H 5	2.6658	117.9	28.43	66.07		
-35年目	H 6	2.5633	117.8	48.02	102.94		
-34年目	H 7	2.4647	117.1	78.00	164.43		
-33年目	H 8	2.3699	116.6	71.37	149.13		
-32年目	H 9	2.2788	117.5	120.14	239.52		
-31年目	H 10	2.1911	116.9	155.11	298.87		
-30年目	H 11	2.1068	115.2	141.08	265.24		
-29年目	H 12	2.0258	113.8	90.38	165.40		
-28年目	H 13	1.9479	112.4	155.36	276.78		
-27年目	H 14	1.8730	110.5	187.65	326.98		
-26年目	H 15	1.8009	109.0	209.65	356.09		
-25年目	H 16	1.7317	107.9	301.62	497.62		
-24年目	H 17	1.6651	106.7	455.24	730.31		
-23年目	H 18	1.6010	105.9	185.99	289.06		
部分供用開始	H 19	1.5395	105.0	153.70	231.66	3.43	5.17
部分1年目	H 20	1.4802	104.4	119.98	174.87	3.43	5.00
部分2年目	H 21	1.4233	103.0	133.33	189.40	3.43	4.87
部分3年目	H 22	1.3686	101.3	128.09	177.90	3.43	4.76
部分4年目	H 23	1.3159	99.8	169.72	230.05	3.43	4.65
部分供用開始	H 24	1.2653	99.0	125.26	164.58	5.06	6.64
部分6年目	H 25	1.2167	99.0	78.16	98.75	5.06	6.39
部分7年目	H 26	1.1699	101.5	102.28	121.19	4.92	5.83
部分供用開始	H 27	1.1249	103.0	144.21	161.91	6.67	7.48
部分9年目	H 28	1.0816	102.8	187.56	202.87	6.67	7.21
部分10年目	H 29	1.0400	102.8	79.76	82.95	6.67	6.93
部分供用開始	H 30	1.0000	102.8	74.23	74.23	9.73	9.73
部分12年目	H 31	0.9615	102.8	83.52	80.30	9.73	9.36
部分13年目	H 32	0.9246	102.8	83.39	77.10	9.73	9.00
部分14年目	H 33	0.8890	102.8	92.59	82.31	9.73	8.65
部分15年目	H 34	0.8548	102.8	101.85	87.06	9.73	8.32
部分16年目	H 35	0.8219	102.8	101.85	83.71	9.73	8.00
部分17年目	H 36	0.7903	102.8	111.11	87.81	9.73	7.69
部分18年目	H 37	0.7599	102.8	138.89	105.54	9.73	7.39
部分19年目	H 38	0.7307	102.8	166.67	121.78	9.73	7.11
部分20年目	H 39	0.7026	102.8	185.19	130.11	9.73	6.84
部分21年目	H 40	0.6756	102.8	419.48	283.40	9.73	6.57
供用開始年次	H 41	0.6496	102.8			13.02	8.46
1年目	H 42	0.6246	102.8			13.02	8.13
2年目	H 43	0.6006	102.8			13.02	7.82
3年目	H 44	0.5775	102.8			13.02	7.52
4年目	H 45	0.5553	102.8			13.02	7.23
5年目	H 46	0.5339	102.8			13.02	6.95
6年目	H 47	0.5134	102.8			13.02	6.68
7年目	H 48	0.4936	102.8			13.02	6.43
8年目	H 49	0.4746	102.8			13.02	6.18
9年目	H 50	0.4564	102.8			13.02	5.94
10年目	H 51	0.4388	102.8			13.02	5.71
11年目	H 52	0.4220	102.8			13.02	5.49
12年目	H 53	0.4057	102.8			13.02	5.28
13年目	H 54	0.3901	102.8			13.02	5.08
14年目	H 55	0.3751	102.8			13.02	4.88
15年目	H 56	0.3607	102.8			13.02	4.70
16年目	H 57	0.3468	102.8			13.02	4.51
17年目	H 58	0.3335	102.8			13.02	4.34
18年目	H 59	0.3207	102.8			13.02	4.18
19年目	H 60	0.3083	102.8			13.02	4.01
20年目	H 61	0.2965	102.8			13.02	3.86
21年目	H 62	0.2851	102.8			13.02	3.71
22年目	H 63	0.2741	102.8			13.02	3.57
23年目	H 64	0.2636	102.8			13.02	3.43
24年目	H 65	0.2534	102.8			13.02	3.30
25年目	H 66	0.2437	102.8			13.02	3.17
26年目	H 67	0.2343	102.8			13.02	3.05
27年目	H 68	0.2253	102.8			13.02	2.93
28年目	H 69	0.2166	102.8			9.69	2.10
29年目	H 70	0.2083	102.8			9.69	2.02
30年目	H 71	0.2003	102.8			9.69	1.94
31年目	H 72	0.1926	102.8			9.69	1.87
32年目	H 73	0.1852	102.8			9.69	1.79
33年目	H 74	0.1780	102.8			8.10	1.44
34年目	H 75	0.1712	102.8			8.10	1.39
35年目	H 76	0.1646	102.8			8.10	1.33
36年目	H 77	0.1583	102.8			6.35	1.01
37年目	H 78	0.1522	102.8			6.35	0.97
38年目	H 79	0.1463	102.8			6.35	0.93
39年目	H 80	0.1407	102.8			3.29	0.46
40年目	H 81	0.1353	102.8			3.29	0.44
41年目	H 82	0.1301	102.8			3.29	0.43
42年目	H 83	0.1251	102.8			3.29	0.41
43年目	H 84	0.1203	102.8			3.29	0.40
44年目	H 85	0.1157	102.8			3.29	0.38
45年目	H 86	0.1112	102.8			3.29	0.37
46年目	H 87	0.1069	102.8			3.29	0.35
47年目	H 88	0.1028	102.8			3.29	0.34
48年目	H 89	0.0989	102.8			3.29	0.33
49年目	H 90	0.0951	102.8	-878.53	-83.55	3.29	0.31
合計				4638.90	8164.43	651.68	321.14
単純事業費計				5517.43		651.68	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道24号 大和御所道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.81	4.4	3.55	
-10年目	H 31	0.9615	102.8	83.52	80.30		
-9年目	H 32	0.9246	102.8	83.39	77.10		
-8年目	H 33	0.8890	102.8	92.59	82.31		
-7年目	H 34	0.8548	102.8	101.85	87.06		
-6年目	H 35	0.8219	102.8	101.85	83.71		
-5年目	H 36	0.7903	102.8	111.11	87.81		
-4年目	H 37	0.7599	102.8	138.89	105.54		
-3年目	H 38	0.7307	102.8	166.67	121.78		
-2年目	H 39	0.7026	102.8	185.19	130.11		
-1年目	H 40	0.6756	102.8	419.48	283.40		
供用開始年次	H 41	0.6496	102.8			3.29	2.14
1年目	H 42	0.6246	102.8			3.29	2.05
2年目	H 43	0.6006	102.8			3.29	1.97
3年目	H 44	0.5775	102.8			3.29	1.90
4年目	H 45	0.5553	102.8			3.29	1.83
5年目	H 46	0.5339	102.8			3.29	1.75
6年目	H 47	0.5134	102.8			3.29	1.69
7年目	H 48	0.4936	102.8			3.29	1.62
8年目	H 49	0.4746	102.8			3.29	1.56
9年目	H 50	0.4564	102.8			3.29	1.50
10年目	H 51	0.4388	102.8			3.29	1.44
11年目	H 52	0.4220	102.8			3.29	1.39
12年目	H 53	0.4057	102.8			3.29	1.33
13年目	H 54	0.3901	102.8			3.29	1.28
14年目	H 55	0.3751	102.8			3.29	1.23
15年目	H 56	0.3607	102.8			3.29	1.19
16年目	H 57	0.3468	102.8			3.29	1.14
17年目	H 58	0.3335	102.8			3.29	1.10
18年目	H 59	0.3207	102.8			3.29	1.05
19年目	H 60	0.3083	102.8			3.29	1.01
20年目	H 61	0.2965	102.8			3.29	0.97
21年目	H 62	0.2851	102.8			3.29	0.94
22年目	H 63	0.2741	102.8			3.29	0.90
23年目	H 64	0.2636	102.8			3.29	0.87
24年目	H 65	0.2534	102.8			3.29	0.83
25年目	H 66	0.2437	102.8			3.29	0.80
26年目	H 67	0.2343	102.8			3.29	0.77
27年目	H 68	0.2253	102.8			3.29	0.74
28年目	H 69	0.2166	102.8			3.29	0.71
29年目	H 70	0.2083	102.8			3.29	0.68
30年目	H 71	0.2003	102.8			3.29	0.66
31年目	H 72	0.1926	102.8			3.29	0.63
32年目	H 73	0.1852	102.8			3.29	0.61
33年目	H 74	0.1780	102.8			3.29	0.59
34年目	H 75	0.1712	102.8			3.29	0.56
35年目	H 76	0.1646	102.8			3.29	0.54
36年目	H 77	0.1583	102.8			3.29	0.52
37年目	H 78	0.1522	102.8			3.29	0.50
38年目	H 79	0.1463	102.8			3.29	0.48
39年目	H 80	0.1407	102.8			3.29	0.46
40年目	H 81	0.1353	102.8			3.29	0.44
41年目	H 82	0.1301	102.8			3.29	0.43
42年目	H 83	0.1251	102.8			3.29	0.41
43年目	H 84	0.1203	102.8			3.29	0.40
44年目	H 85	0.1157	102.8			3.29	0.38
45年目	H 86	0.1112	102.8			3.29	0.37
46年目	H 87	0.1069	102.8			3.29	0.35
47年目	H 88	0.1028	102.8			3.29	0.34
48年目	H 89	0.0989	102.8			3.29	0.33
49年目	H 90	0.0951	102.8	-3.20	-0.30	3.29	0.31
合計				1481.33	1138.82	164.35	47.69
単純事業費計				1484.53		164.35	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道24号 大和御所道路

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	①計	現在価値 (1)×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (2)×(A)	③	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率4%			
																			乗用車類	小型貨物	普通貨物
部分供用開始	H 19	0.99798	0.99517	1.01268	0.99970	1.5395	105.0	145.37	44.10	38.66	228.13	343.84	10.94	1.72	3.16	15.82	23.84	3.84	5.78	247.78	373.47
部分1年目	H 20	0.99797	0.99515	1.01252	0.99970	1.4802	104.4	145.08	43.88	39.15	228.11	332.47	10.92	1.71	3.20	15.83	23.07	3.83	5.59	247.77	361.13
部分2年目	H 21	0.99797	0.99512	1.01237	0.99970	1.4233	103.0	144.78	43.67	39.64	228.09	324.01	10.90	1.70	3.24	15.84	22.50	3.83	5.45	247.76	351.96
部分3年目	H 22	1.00594	1.00100	1.02024	1.00671	1.3686	101.3	144.49	43.46	40.13	228.08	316.77	10.88	1.69	3.28	15.85	22.01	3.83	5.32	247.76	344.10
部分4年目	H 23	1.01563	1.01063	1.02987	1.01641	1.3159	99.8	145.35	43.50	40.94	229.79	311.47	10.94	1.69	3.35	15.98	21.66	3.86	5.23	249.63	338.36
部分供用開始	H 24	1.00128	0.99632	1.01512	1.00204	1.2653	99.0	168.66	50.24	46.84	265.74	349.14	13.38	2.16	4.32	19.86	26.10	4.69	6.16	290.29	381.40
部分6年目	H 25	0.99248	0.98754	1.00601	0.99323	1.2167	99.0	168.87	50.06	47.55	266.48	336.67	13.40	2.15	4.38	19.94	25.19	4.70	5.94	291.11	367.79
部分7年目	H 26	1.00446	0.99944	1.01798	1.00523	1.1699	101.5	167.60	49.43	47.83	264.87	313.84	13.30	2.13	4.41	19.83	23.50	4.67	5.53	289.37	342.87
部分供用開始	H 27	0.99307	0.98807	1.00625	0.99382	1.1249	103.0	204.57	57.23	60.69	322.49	362.07	16.78	2.24	5.53	24.55	27.56	6.34	7.11	353.36	396.74
部分9年目	H 28	0.99460	0.98957	1.00763	0.99536	1.0816	102.8	203.15	56.55	61.07	320.77	346.96	16.66	2.21	5.56	24.44	26.43	6.30	6.81	351.51	380.19
部分10年目	H 29	0.99616	0.99110	1.00905	0.99692	1.0406	102.8	202.05	55.96	61.54	319.55	332.33	16.57	2.19	5.61	24.37	25.34	6.27	6.52	350.19	380.19
部分供用開始	H 30	0.99694	0.99185	1.00968	0.98770	1.0000	102.8	220.90	57.81	70.93	349.53	349.53	20.17	2.25	6.98	29.40	29.40	8.23	8.23	387.17	387.17
部分12年目	H 31	0.99920	0.99407	1.01180	0.99996	0.9615	102.8	220.13	57.34	71.61	349.08	335.64	20.11	2.23	7.04	29.39	28.26	8.22	7.90	386.68	371.79
部分13年目	H 32	0.99915	0.98700	1.00675	0.99809	0.9246	102.8	219.95	57.00	72.46	349.40	323.06	20.10	2.22	7.13	29.44	27.22	8.21	7.60	387.06	357.88
部分14年目	H 33	0.99915	0.98683	1.00671	0.99809	0.8890	102.8	219.76	56.25	72.95	348.97	310.23	20.08	2.19	7.17	29.44	26.18	8.20	7.29	386.61	343.70
部分15年目	H 34	0.99915	0.98665	1.00666	0.99808	0.8548	102.8	219.58	55.51	73.44	348.53	297.92	20.06	2.16	7.22	29.45	25.17	8.18	7.00	386.16	330.09
部分16年目	H 35	0.99915	0.98647	1.00662	0.99808	0.8219	102.8	219.39	54.77	73.93	348.09	286.09	20.05	2.13	7.27	29.45	24.20	8.17	6.71	385.70	317.01
部分17年目	H 36	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.7903	102.8	219.20	54.03	74.42	347.65	274.75	20.03	2.10	7.32	29.45	23.27	8.15	6.44	385.25	304.46
部分18年目	H 37	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7599	102.8	219.01	53.29	74.91	347.21	263.84	20.01	2.07	7.37	29.45	22.38	8.14	6.18	384.80	292.41
部分19年目	H 38	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7307	102.8	218.83	52.55	75.40	346.77	253.39	19.99	2.05	7.42	29.45	21.52	8.12	5.93	384.35	280.84
部分20年目	H 39	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7026	102.8	218.64	51.81	75.89	346.33	243.33	19.98	2.02	7.46	29.46	20.70	8.10	5.69	383.89	269.72
部分21年目	H 40	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.6756	102.8	218.45	51.07	76.37	345.89	233.68	19.96	1.99	7.51	29.46	19.90	8.09	5.47	383.44	259.05
供用開始年次	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	302.76	68.03	111.51	442.30	313.30	26.64	2.45	9.19	38.28	24.87	12.22	7.94	532.80	346.11
1年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	302.50	67.03	112.22	481.75	300.90	26.62	2.41	9.25	38.28	23.91	12.19	7.62	532.22	332.43
2年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	300.07	66.41	112.00	478.47	287.37	26.40	2.39	9.23	38.23	22.84	12.10	7.27	528.60	317.48
3年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	297.64	65.79	111.77	475.20	274.43	26.19	2.37	9.22	37.77	21.81	12.01	6.94	524.99	303.18
4年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	295.21	65.17	111.55	471.93	262.06	25.98	2.34	9.20	37.22	20.83	11.92	6.62	521.37	289.52
5年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	292.78	64.55	111.32	468.65	250.21	25.76	2.32	9.18	37.26	19.90	11.83	6.32	517.75	276.43
6年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	290.35	63.93	111.10	465.38	238.93	25.55	2.30	9.16	37.01	19.00	11.75	6.03	514.14	263.96
7年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	287.92	63.31	110.88	462.11	228.10	25.33	2.28	9.14	36.75	18.14	11.66	5.75	510.52	251.99
8年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	285.49	62.69	110.65	458.83	217.76	25.12	2.26	9.12	36.50	17.32	11.57	5.49	506.90	240.57
9年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	283.06	62.07	110.43	455.56	207.92	24.91	2.23	9.11	36.25	16.54	11.48	5.24	503.28	229.70
10年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	280.63	61.45	110.21	452.29	198.46	24.69	2.21	9.09	35.99	15.79	11.39	5.00	499.67	219.25
11年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	278.20	60.83	109.98	449.02	189.48	24.48	2.19	9.07	35.74	15.08	11.30	4.77	496.05	209.33
12年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	275.77	60.21	109.76	445.74	180.84	24.27	2.17	9.05	35.48	14.40	11.21	4.55	492.43	199.78
13年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	273.34	59.59	109.54	442.47	172.61	24.05	2.14	9.03	35.23	13.74	11.12	4.34	488.81	190.69
14年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	270.91	58.97	109.31	439.20	164.74	23.84	2.12	9.01	34.97	13.12	11.03	4.14	485.20	182.00
15年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	268.48	58.36	109.09	435.92	157.24	23.62	2.10	8.99	34.72	12.52	10.94	3.95	481.58	173.71
16年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	266.05	57.74	108.87	432.65	150.04	23.41	2.08	8.98	34.46	11.95	10.85	3.76	477.96	165.76
17年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	263.62	57.12	108.64	429.38	143.20	23.20	2.06	8.96	34.21	11.41	10.76	3.59	474.34	158.19
18年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	261.19	56.50	108.42	426.10	136.65	22.96	2.03	8.94	33.95	10.89	10.67	3.42	470.73	150.66
19年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	258.76	55.88	108.20	422.83	130.36	22.77	2.01	8.92	33.70	10.39	10.58	3.26	467.11	144.01
20年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	256.33	55.26	107.97	419.56	124.40	22.55	1.99	8.90	33.45	9.92	10.49	3.11	463.49	137.43
21年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	253.90	54.64	107.75	416.28	118.68	22.34	1.97	8.88	33.19	9.46	10.40	2.97	459.87	131.11
22年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	251.46	54.02	107.53	413.01	113.21	22.13	1.94	8.87	32.94	9.03	10.31	2.83	456.26	125.06
23年目	H 64	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2636	102.8	249.03	53.40	107.30	409.74	108.01	21.91	1.92	8.85	32.68	8.61	10.22	2.69	452.64	119.32
24年目	H 65	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2534	102.8	246.60	52.78	107.08	406.46	103.00	21.70	1.90	8.83	32.43	8.22	10.13	2.57	449.02	113.78
25年目	H 66	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2437	102.8	244.17	52.16	106.85	403.19	98.26	21.49	1.88	8.81	32.17	7.84	10.04	2.45	445.41	108.55
26年目	H 67	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2343	102.8	241.74	51.54	106.63	399.92	93.70	21.27	1.85	8.79	31.92	7.48	9.95	2.33	441.79	103.51
27年目	H 68	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2253	102.8	239.31	50.92	106.41	396.64	89.36	21.06	1.83	8.77	31.66	7.13	9.86	2.22	438.17	98.72
28年目	H 69	0.98974																			

## 便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道24号 大和御所道路

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	84.50	17.70	34.65	136.85	88.89	6.70	0.49	1.63	8.82	5.73	4.14	2.69	149.81	97.32
1年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	84.43	17.44	34.87	136.73	85.40	6.69	0.48	1.64	8.82	5.51	4.14	2.58	149.69	93.49
2年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	83.75	17.28	34.80	135.82	81.58	6.64	0.48	1.64	8.76	5.26	4.10	2.47	148.69	89.30
3年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	83.07	17.12	34.73	134.91	77.91	6.59	0.47	1.64	8.70	5.02	4.07	2.35	147.69	85.29
4年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	82.39	16.96	34.66	134.01	74.41	6.53	0.47	1.64	8.63	4.79	4.04	2.25	146.68	81.45
5年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	81.71	16.80	34.59	133.10	71.06	6.48	0.46	1.63	8.57	4.58	4.01	2.14	145.68	77.78
6年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	81.03	16.64	34.52	132.19	67.87	6.42	0.46	1.63	8.51	4.37	3.98	2.05	144.68	74.28
7年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	80.36	16.47	34.45	131.28	64.80	6.37	0.45	1.63	8.45	4.17	3.95	1.95	143.68	70.92
8年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	79.68	16.31	34.38	130.37	61.87	6.32	0.45	1.62	8.39	3.98	3.92	1.86	142.68	67.72
9年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	79.00	16.15	34.31	129.46	59.09	6.26	0.45	1.62	8.33	3.80	3.89	1.78	141.68	64.66
10年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	78.32	15.99	34.24	128.55	56.41	6.21	0.44	1.62	8.27	3.63	3.86	1.69	140.68	61.73
11年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	77.64	15.83	34.17	127.64	53.87	6.16	0.44	1.61	8.20	3.46	3.83	1.62	139.68	58.94
12年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	76.96	15.67	34.10	126.73	51.42	6.10	0.43	1.61	8.14	3.30	3.80	1.54	138.68	56.26
13年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	76.29	15.51	34.03	125.83	49.08	6.05	0.43	1.61	8.08	3.15	3.77	1.47	137.68	53.71
14年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	75.61	15.35	33.96	124.92	46.86	5.99	0.42	1.60	8.02	3.01	3.74	1.40	136.68	51.27
15年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	74.93	15.18	33.89	124.01	44.73	5.94	0.42	1.60	7.96	2.87	3.71	1.34	135.68	48.94
16年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	74.25	15.02	33.82	123.10	42.69	5.89	0.41	1.60	7.90	2.74	3.68	1.28	134.68	46.71
17年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	73.57	14.86	33.75	122.19	40.75	5.83	0.41	1.59	7.83	2.61	3.65	1.22	133.67	44.58
18年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	72.90	14.70	33.69	121.28	38.90	5.78	0.41	1.59	7.77	2.49	3.62	1.16	132.67	42.55
19年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	72.22	14.54	33.62	120.37	37.11	5.72	0.40	1.59	7.71	2.38	3.59	1.11	131.67	40.59
20年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	71.54	14.38	33.55	119.46	35.42	5.67	0.40	1.58	7.65	2.27	3.56	1.05	130.67	38.74
21年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	70.86	14.22	33.48	118.56	33.80	5.62	0.39	1.58	7.59	2.16	3.53	1.01	129.67	36.97
22年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	70.18	14.06	33.41	117.65	32.25	5.56	0.39	1.58	7.53	2.06	3.50	0.96	128.67	35.27
23年目	H 64	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2636	102.8	69.50	13.90	33.34	116.74	30.77	5.51	0.38	1.57	7.47	1.97	3.47	0.91	127.67	33.65
24年目	H 65	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2534	102.8	68.83	13.73	33.27	115.83	29.35	5.46	0.38	1.57	7.40	1.88	3.44	0.87	126.67	32.10
25年目	H 66	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2437	102.8	68.15	13.57	33.20	114.92	28.01	5.40	0.37	1.57	7.34	1.79	3.41	0.83	125.67	30.63
26年目	H 67	0.98995	0.98798	0.99790	0.99100	0.2343	102.8	67.47	13.41	33.13	114.01	26.71	5.35	0.37	1.56	7.28	1.71	3.38	0.79	124.67	29.21
27年目	H 68	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2253	102.8	66.79	13.25	33.06	113.10	25.48	5.29	0.37	1.56	7.22	1.63	3.34	0.75	123.67	27.86
28年目	H 69	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2166	102.8	66.11	13.09	32.99	112.19	24.30	5.24	0.36	1.56	7.16	1.55	3.31	0.72	122.67	26.57
29年目	H 70	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2083	102.8	65.43	12.93	32.92	111.28	23.18	5.19	0.36	1.55	7.10	1.48	3.28	0.68	121.67	25.34
30年目	H 71	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2003	102.8	64.76	12.77	32.85	110.38	22.11	5.13	0.35	1.55	7.04	1.41	3.25	0.65	120.66	24.17
31年目	H 72	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.1926	102.8	64.08	12.61	32.78	109.47	21.08	5.08	0.35	1.55	6.97	1.34	3.22	0.62	119.66	23.05
32年目	H 73	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.1852	102.8	63.40	12.45	32.71	108.56	20.10	5.03	0.34	1.54	6.91	1.28	3.19	0.59	118.66	21.98
33年目	H 74	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1780	102.8	62.72	12.28	32.64	107.65	19.16	4.97	0.34	1.54	6.85	1.22	3.16	0.56	117.66	20.94
34年目	H 75	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1712	102.8	62.04	12.12	32.57	106.74	18.27	4.92	0.33	1.54	6.79	1.16	3.13	0.54	116.66	19.97
35年目	H 76	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1646	102.8	61.36	11.96	32.50	105.83	17.42	4.86	0.33	1.53	6.73	1.11	3.10	0.51	115.66	19.04
36年目	H 77	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1583	102.8	60.69	11.80	32.44	104.92	16.61	4.81	0.33	1.53	6.67	1.06	3.07	0.49	114.66	18.15
37年目	H 78	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1522	102.8	60.01	11.64	32.37	104.01	15.83	4.76	0.32	1.53	6.61	1.01	3.04	0.46	113.66	17.30
38年目	H 79	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1463	102.8	59.33	11.48	32.30	103.10	15.08	4.70	0.32	1.52	6.54	0.96	3.01	0.44	112.66	16.48
39年目	H 80	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1407	102.8	58.65	11.32	32.23	102.20	14.38	4.65	0.31	1.52	6.48	0.91	2.98	0.42	111.66	15.71
40年目	H 81	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1353	102.8	57.97	11.16	32.16	101.29	13.70	4.60	0.31	1.52	6.42	0.87	2.95	0.40	110.66	14.97
41年目	H 82	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1301	102.8	57.29	10.99	32.09	100.38	13.06	4.54	0.30	1.51	6.36	0.83	2.92	0.38	109.66	14.27
42年目	H 83	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1251	102.8	56.62	10.83	32.02	99.47	12.44	4.49	0.30	1.51	6.30	0.79	2.89	0.36	108.65	13.59
43年目	H 84	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1203	102.8	55.94	10.67	31.95	98.56	11.86	4.43	0.29	1.51	6.24	0.75	2.86	0.34	107.65	12.95
44年目	H 85	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1157	102.8	55.26	10.51	31.88	97.65	11.30	4.38	0.29	1.50	6.17	0.71	2.83	0.33	106.65	12.34
45年目	H 86	0.98757	0.98443	0.99782	0.98913	0.1112	102.8	54.58	10.35	31.81	96.74	10.76	4.33	0.29	1.50	6.11	0.68	2.80	0.31	105.65	11.75
46年目	H 87	0.98742	0.98418	0.99781	0.98901	0.1069	102.8	53.90	10.19	31.74	95.83	10.24	4.27	0.28	1.50	6.05	0.65	2.77	0.30	104.65	11.19
47年目	H 88	0.98726	0.98393	0.99781	0.98889	0.1028	102.8	53.22	10.03	31.67	94.92	9.76	4.22	0.28	1.49	5.99	0.62	2.74	0.28	103.65	10.66
48年目	H 89	0.98709	0.98367	0.99780	0.98876	0.0989	102.8	52.55	9.87	31.60	94.02	9.30	4.17	0.27	1.49	5.93	0.59	2.71	0.27	102.65	10.15
49年目	H 90	0.98692	0.98340	0.99780	0.98864	0.0951	102.8	51.87	9.71	31.53	93.11	8.85	4.11	0.27	1.49	5.87	0.56	2.68	0.25	101.65	9.67
合 計								3,423.71	682.79	1,661.41	5,767.90	1,775.30	271.41	18.83	78.38	368.62	113.84	171.02	53.02	6,307.55	1,942.16

(全体事業費)

路線名	箇所名	車線数	延長
京奈和自動車道	大和御所道路	4	27.2km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				354,067	
	改良費				64,044	
		土工	m <sup>3</sup>	1,837,591	11,271	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	87,759	248	
		法面工	m <sup>2</sup>	52,315	879	
		擁壁工	式	1	50,628	重力式擁壁、U型擁壁、L型擁壁、逆T型擁壁等
		函渠工	m	3,329	1,018	
	橋梁費				194,819	
		100m以上	m	32,317	194,641	
		100m未満	m	121	177	
	トンネル費				50,372	
		NATM	m	4,713	50,372	
		シールド	m			
	IC・JCT費				25,370	
		IC	箇所	9	22,786	
		JCT	箇所	1	2,584	
	舗装費				13,953	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	967,476	13,402	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	106,134	551	
	付帯施設費				5,509	
		交通管理施設工	式	1	3,846	道路照明、路傍植樹、転落防止柵、ガードレール等
		遮音壁	m	4,022	1,663	
②	用地及補償費				160,443	
	用地費		m <sup>2</sup>	1,359,600	87,853	
		宅地	m <sup>2</sup>	309,119	59,546	
		田畑	m <sup>2</sup>	922,181	27,665	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	128,300	642	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	72,590	
③	間接経費		式	1	65,490	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				580,000	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	大和御所道路	4	27.2km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	27.2	8,450	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	61,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			70,300	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
京奈和自動車道	大和御所道路	4	4.4km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					119,147	
	改良費				33,271	
		土工	m <sup>3</sup>	842,558	2,394	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	43,880	62	
		法面工	m <sup>2</sup>	27,973	220	
		擁壁工	式	1	30,328	
		函渠工	m	2,152	267	
	橋梁費				44,897	
		100m以上	m	13,160	44,897	
		100m未満	m			
	トンネル費				35,863	
		NATM	m	4,713	35,863	
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,484	
		IC	箇所	2	2,484	
		JCT	箇所			
	舗装費				2,057	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	257,808	1,936	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	57,794	121	
	付帯施設費				575	
		交通管理施設工	式	1	495	道路照明、路傍植樹、転落防止柵、ガードレール等
		遮音壁	m	601	80	
②用地及補償費					30,679	
	用地費		m <sup>2</sup>	11,856	320	
		宅地	m <sup>2</sup>	5,214	146	
		田畑	m <sup>2</sup>	6,642	174	
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	30,359	
③間接経費			式	1	10,478	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					160,304	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道24号	大和御所道路	4	4.4km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.4	1,500	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			17,750	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

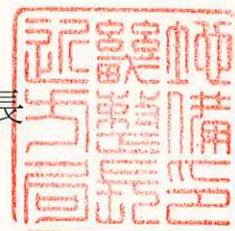


国近整企画第144号

平成30年10月29日

奈良県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成30年11月15日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成30年11月7日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道24号大和御所道路	事業継続	
一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	事業継続	
一般国道168号長殿道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

道 建 第 1 1 0 号  
平成 3 0 年 1 1 月 7 日

近畿地方整備局長  
黒川 純一良 殿

奈良県知事 荒井 正吾



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 3 0 年 1 0 月 2 9 日付け、国近整企画第 1 4 4 号で照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

対象道路事業

- ・ 一般国道 2 4 号大和御所道路
- ・ 一般国道 1 6 8 号五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）
- ・ 一般国道 1 6 8 号長殿道路

【一般国道24号大和御所道路】

京奈和自動車道は、奈良県の南北の基軸であり、働く場の確保に向けた企業誘致や地域経済活動の拡大といった本県の地方創生の実現に欠くことのできない重要な高規格幹線道路です。

大和御所道路で事業中の区間である橿原北ICから橿原高田IC間は西名阪自動車道以南、阪和道と歌山JCTまでの間で唯一のミッシングリンクとなり、並行する国道24号における慢性的な渋滞のさらなる悪化や、供用の目途の立たない状況が続けば、新たな雇用を生み出す企業の新規立地が停滞し、本県の地方創生の基本目標である「働いてよし」の実現に甚大な影響を及ぼします。

以上のことから、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていることから、本県と速やかな情報共有を図っていただくとともに、県としては、引き続き円滑な事業推進のための環境整備や沿線自治体との連携・協力に努めますので、一日も早い全線供用をお願いします。